

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人相模原市社会福祉事業団

目 次

令和元年度を振り返って

1 法人本部	
(1)－① 法人本部運営	1
(1)－② 地域における公益的な取組	5
(2)障害者支援センター管理事業	6
2 障害者支援センター相談支援事業所	7
3 障害者支援センター多機能型事業所	
(1)生活介護事業	8
(2)自立訓練(生活訓練)事業	11
(3)就労移行支援事業	13
(4)就労継続支援B型事業	15
(5)就労移行支援事業	17
4 銀河	
(1)生活介護事業	18
(2)ガイドヘルプサービス事業所	20
5 障害者支援センター	
(1)障害者地域就労援助センター事業	22
(2)障害者就業・生活支援センター事業	28
(3)地域障害者施設支援事業	30
(4)手話通訳者等養成事業	33
(5)基幹相談支援センター等事業	34
6 障害者一時ケア事業	37
7 発達障害支援センター就労支援事業	39
8 障害者相談支援キーテーション事業	41
9 けやき体育館	
(1)けやき体育館管理・運営事業	43
(2)障害者余暇活動支援事業	45
○福祉研修センター研修一覧表	巻末

令和元年度を振り返って

4月に平成31年度で始まった年度は、5月から新たな元号の令和元年度となりました。

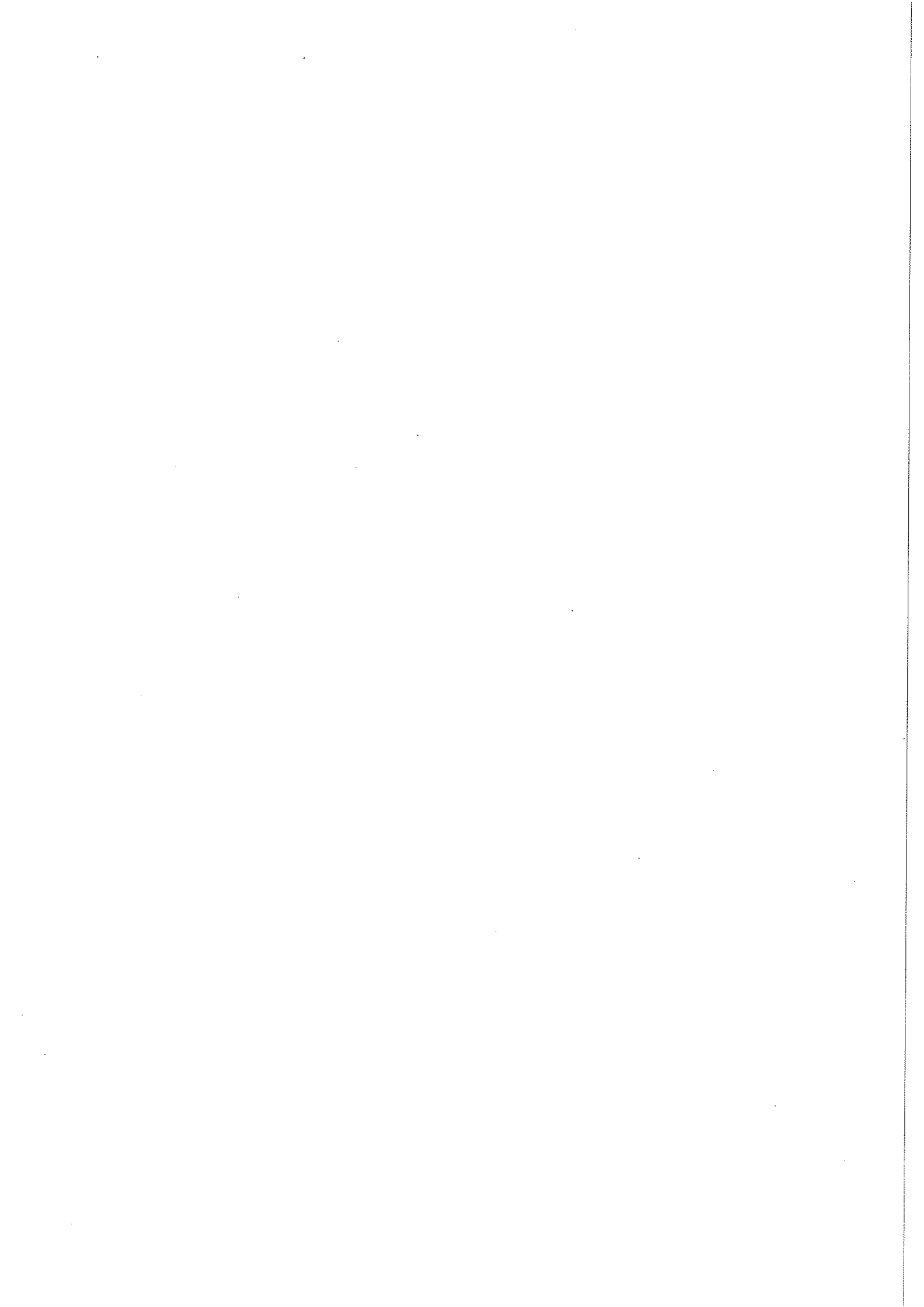
この節目の年度に、社会福祉法人相模原市社会福祉事業団は、創立25周年を迎えることができました。これもひとえに、関係する皆様のご理解とご協力があったことです。心から感謝を申し上げます。

今年度は、相模原市立障害者支援センター松が丘園と相模原市立けやき体育館の、5年間の新たな指定管理期間の初年度でした。また、この5年間と期間を同じくする、新たな経営計画の初年度でもありました。ここで、簡単に1年間を振り返りたいと思います。

- ◇4月。新規採用の正規職員を2名迎えました。生活支援課と銀河にそれぞれ配属され、日々業務に励んでおります。
- ◇6月。定時評議員会を開催し、新たに2年の任期となる役員(理事・監事)が選任され、その後の理事会において、理事長に八木智明氏が、常務理事に佐藤浩三氏が選定されました。
- ◇9月。障害者雇用促進月間として「障害者合同面接会」が開催され、今年は8名の採用につながりました。また、毎日新聞論説委員野澤和弘氏の講演会「障害者の幸せとやりがいのある支援」を、障害者虐待防止・権利擁護研修の一環で開催し、多くの方にご参加いただきました。
- ◇10月。消費税の税率引上げや軽減税率の導入に対し、喫茶麦の穂とけやきカフェでの店内飲食と持ち帰りの販売価格を統一しました。全土に甚大な被害をもたらした台風19号(令和元年東日本台風)により、事業団の事業も終日すべて休止を余儀なくされましたが、人的、物的な被害はありませんでした。26日には法人創立25周年記念事業として「第23回松が丘園祭」を開催し、本村賢太郎相模原市長を始め、市議会議員、関係団体の方々等、多くの方に御来場いただきました。地域の皆様に事業団の事業を知っていただく、楽しい1日となりました。
- ◇12月。けやき体育館フェスタを2日間にわたって開催しました。様々なパラスポーツを体験する機会となりました。相模原市議会において、松が丘園関連の補正予算が可決され、念願の空調設備リニューアルに目途がつかしました。このため、工事期間の3月から当面の間、研修室の貸出しを中止しています。
- ◇1月。多機能型事業所・銀河それぞれで成人祝賀会を開催。今年は13名の新成人をお祝いしました。
- ◇2月。新型コロナウイルス感染症が拡大。当事業団においては、対策本部会議の設置、基本方針の策定を迅速に進め、感染予防行動の徹底、集団感染リスクの回避など、感染対策に取り組みました。
- ◇3月。感染症対策として市の方針を受け、けやき体育館を2日から事業を休止しています。松が丘園の多機能型事業所及び銀河生活介護事業の通所型事業と一時ケアは、国・県・市から事業継続要請のある障害福祉サービスとして、ほぼ通常どおりの運営を行いました。銀河ガイドヘルプは、生活に必要な外出のみ、ヘルパーを派遣しました。就労支援・相談支援事業は、面接、訪問、同行を最小限とし、電話等の代替手段を用いて、ほぼ通常どおりの対応とし、新規相談の一部については延期しました。福祉研修センターの主催研修、手話講座、会議等は、市の方針を受けて6月以降への延期としました。

今年度の事業は、第3四半期までは概ね順調に実施してきましたが、2月以降は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく出ました。なお、令和元年度決算への影響は限定的であり、当面の運転資金については問題ないことを申し添えます。

次年度についても、現時点で見通すことは困難ですが、利用者の命と健康を守り、障害のある方の日常生活に不安が生じないよう、感染症対策を進め、細心の注意を払いながら、できる限り事業を継続することで、当事業団に求められる役割を発揮してまいります。



1 法人本部

(1) - ①法人本部運営

1 事業概要

法人運営に係る評議員会、理事会を開催し、事業計画、予算、決算等を策定するとともに、職員の採用、育成、人事、労務管理を行った。

2 事業内容

(1)理事会の開催

開催日	出席者数/定数	主な議題
5月29日	理事 6/6 監事 2/2	・平成30年度事業報告、収支決算、監事監査報告 ・定款の一部改正 ・評議員、理事及び監事候補者の選任
6月13日	理事 6/7 監事 1/2	・理事長及び常務理事の選定
3月18日 (決議の省略)	理事同意 7/7 監事異議なし確認 2/2	・資金収支予算の補正 ・育児・介護休業規程の制定 ・職員、準職員、契約職員、非常勤職員就業規則、 職員給与、退職手当規程の一部の改正 ・組織規程の一部の改正 ・令和2年度事業計画、収支予算 ・臨時評議員会の招集 ・理事候補者の選任 ・定款第19条第4項に規定する報告

(2)評議員会の開催

開催日	出席者数/定数	主な議題
定時評議員会 6月13日	評議員 7/8	・平成30年度収支決算 ・定款の一部改正 ・理事及び監事の選任
臨時評議員会 3月26日 (決議の省略)	評議員同意 8/8	・理事の選任

(3)評議員選任・解任委員会の開催

開催日	出席者数/定数	議題
5月29日	委員3/3	・評議員の選任(2名)

(4)監査の実施

ア 監事監査(5月21日)

実施者	法人監事2名(町田紘一氏、横木康隆氏)
対象	平成30年度法人運営(事業)及び財務(収支決算)
監査結果	5月29日理事会に報告のとおり

イ 定期指導監査:非該当年度

(5)運営協議会の開催

開催日	出席者数/現在数	議題
7月17日	10/10	・事業団の概要について ・地域との連携について

(6)人材の確保

福祉関連領域を学んだ新規学卒者を主な対象に、例年より早く前年度3月から情報提供を行ったことが奏功した。また、看護師についても欠員が生じた1名の採用を行った。

区分	募集期間	募集人数	応募人数	採用人数
正規職員・福祉職員	5月1日～6月28日	若干名	7人	2人
正規職員・看護師	1月15日～2月29日	1名	1人	1名
契約職員・生活支援員	10月、1月、2月	若干名	9人	5名

(7)人材の育成

ア 職員研修の実施

研修区分		内容	参加人数		
職場 研修 OJT	階層研修	・新規採用職員研修(法人内)	6		
	法人本部 テーマ別 研修	・交通事故防止対策	63		
		・障害者虐待防止セミナー	60		
		・コンプライアンスセミナー ・感染症対策セミナー	57 62		
本部 専門 研修 職場外	本部 専門 研修 職場外	・サービス管理責任者研修(基礎・更新)	3		
		・相談支援従事者研修(初任者・現任・プレ)	4		
		・主任相談支援専門員養成研修	1		
		・職場適応援助者養成研修	2		
		・相模原市主催研修(新規採用・階層別)	6		
		・全国社会福祉事業団協議会・指導者を育成する研修	1		
		・社会人としての基本的マナー	3		
		・障害福祉基礎研修(事業団開催)	68		
		職場 外 研修	職場 外 研修	・全事協関東・甲信越ブロック職員研修会	1
				・神奈川県社会福祉協議会新任職員研修会	1
・関東地区知的障害関係施設種別代表者会議	1				
・第37回神奈川県障害福祉職員実践報告会	2				
・重症心身障害児者関係施設協議会職員実践報告会	1				
・リーダーシップ強化実践講座	1				
・ファシリテーション基礎研修	2				
OFF -JT 所属 専門 研修 職場外	所属 専門 研修 職場外	・クレーム対応について学ぶ	1		
		・安全運転研修	6		
		・第27回職業リハビリテーション研究・実践発表会	1		
		・障害者就業・生活支援センター主任就業支援担当者研修	1		
		・障害者就業・生活支援センター南関東ブロック経験交流会議	1		
		・神奈川県発達障害者支援センター支援者向け研修	1		
		・障害者雇用促進セミナープログラム	1		
		・就職困難学生と企業のマッチング支援プロジェクト4	1		
		・就業支援基礎研修	1		
		・神奈川県強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	1		
		・神奈川県強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	3		
		・強度行動障害者地域生活サポート事業	1		
		・神奈川県強度行動障害対策研修	1		

	・第31回自閉症実践療育講座	1
	・自閉症セミナー2019 基礎講座	1
	・第31回こうさい療育セミナー	2
	・神奈川県相談支援従事者専門コース別研修	1
	・高次脳機能障害セミナー	1
	・相談支援・就業セミナー	1
	・全国相談支援ネットワーク研修会	1
	・障害者施設等における不審者対策	1
	・虐待防止・権利擁護指導者養成研修	1
	・障害者虐待防止・権利擁護研修	3
	・知的障害のある犯罪行為者への支援を学ぶ	1
	・かながわ障がいケアマネジメント技術研修会	2
	・障がい者の幸せとやりがいのある支援	2
	・対応が困難な相談ケースへの対応方法を学ぶ	1
	・成年後見について	1
	・中途失聴・難聴者のためのコミュニケーション教室	1
	・誰もが働きやすい職場づくり～DET から考える	1
	・知的障害の方の身体機能低下への対応	1
	・市保険高齢部職場研修(これからの地域づくり戦略について)	1
	・さがみはら☆共にささえあい生きる社会をめざして!	2
	・共生のための「心のバリアフリー」	1
	・小児訪問看護・重症心身障害児者看護研修会	1
	・感染症の基礎知識と予防対策	1
	・重度・重度児(者)医療・療育(基礎)講習会	1
	・中級障がい者スポーツ指導員養成講習会(前期)	1
	・中級障がい者スポーツ指導員養成講習会(後期)	1
	・神奈川県初級障がい者スポーツ指導者養成講習会	1

イ 資格取得(登録)の状況

認定社会福祉士 1、社会福祉士 1、精神保健福祉士 2、介護福祉士 2

(8) リスクマネジメントとコンプライアンス

ア 統合危機管理・コンプライアンス委員会

災害対策部会	近隣自治会・大学との連携の基礎となる障害福祉施設の理解
感染症対策部会	新型コロナウイルス感染症対策とその対応
虐待防止対策部会	セルフチェックリストと意見交換の実施、意識啓発チラシの作成周知
交通事故防止対策部会	交通事故防止対策研修の実施
コンプライアンス部会	職場のパワーハラスメントの予防とメンタルヘルスケア研修の実施

イ 苦情解決体制

第三者委員会議の開催(1/29)による苦情等の状況報告と対応への助言

年	苦情	苦情の分類				ご意見・ご要望
		人的サービス	施設の管理運営	施設設備	その他	
R元	0	0	0	0	0	1
30	0	0	0	0	0	3

ご意見・ご要望の内容

・湿気が多く、卓球や体調に影響が出るので体育室に空調を設置して欲しい(けやき体育館)
--

ウ 事故及びヒヤリ・ハット報告の状況

(ヒヤリハット報告は、評議員会でのご指摘を受けて情報集約を見直した結果、増加したもの)

年度	事故報告	交通事故・違反	事務処理ミス	ヒヤリ・ハット報告
R元	7	6	0	13
30	3	10	5	0

エ 個人情報保護・開示

開示申出件数:0件

(9)広報活動及び情報公開

ア ホームページによる情報提供:年間 138回

イ 機関紙「こもれび」の発行:年間2回・各1,000部・地域の方、関係機関等へ配布

ウ 第23回松が丘園祭の開催(10月26日(土)):来場者数:680人

ステージ発表(よさこい披露、チアダンス、和太鼓、オーケストラ)、自主製品販売、介護ロボット体験、バザー、ホームカミングデイ、25周年記念展示、災害取組企画展

(10)職員の労務管理及び福利厚生

ア 衛生委員会の開催:毎月1回開催(2,3月は中止)

イ ストレスチェックの実施:令和元年11月・対象者69人

ウ 臨床心理士による職員なんでも相談の実施:相談件数18件

エ インフルエンザ予防接種費用の一部補助:利用者26人

(11)利用者満足度調査(アンケート)の結果

実施期間:9月1日~30日(けやき体育館9月15日~10月15日・一時ケア事業11月15日~12月15日)

事業名	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・まあ満足の割合
多機能型事業所	59	51	86%	94%
けやき体育館	232	197	85%	89%
銀河・生活介護事業所	42	31	74%	94%
障害者一時ケア事業	220	107	49%	91%

*利用者満足度調査の結果報告は、事業団機関紙「こもれび45号」に掲載しています。

1 法人本部

(1)-② 地域における公益的な取組

1 事業概要

社会福祉法人の責務である「地域における公益的な取組」を、組織横断的な体制で実施した。

2 事業内容

ア 知的障害者フリースペース活動事業「まつカフェ」・イベントプログラムの実施状況

年度	日時・内容	活動場所	参加者数
R 元	6月29日(土)13:30~15:30 トランプ・オセロ等のゲームを楽しもう	障害者支援センター松が丘園 喫茶麦の穂	4
	7月27日(土)13:30~15:30 懐かしの工作	障害者支援センター松が丘園 喫茶麦の穂	5
	8月31日(土)13:30~15:30 野菜スタンプではがきを作ろう	障害者支援センター松が丘園 喫茶麦の穂	4
	9月28日(土)13:30~15:30 写真を撮ろう	障害者支援センター松が丘園 喫茶麦の穂	4
	★イベントプログラム 10月26日(土) 松が丘園祭での創作品等の展示	障害者支援センター松が丘園 研修室	—
	11月23日(土)13:30~15:30 パステルアートを楽しもう	けやき体育館 教室	3
	12月21日(土)13:30~15:30 クリスマスリースを作ろう	障害者支援センター松が丘園 喫茶麦の穂	8
	1月18日(土)13:30~15:30 映画を楽しもう	障害者支援センター松が丘園 喫茶麦の穂	5
	2月22日(土)13:30~15:30 和装小物を作ろう	障害者支援センター松が丘園 喫茶麦の穂	7
	3月21日(土)13:30~15:30 人生ゲームで遊ぼう	障害者支援センター松が丘園 喫茶麦の穂	中止
			参加者合計
30	全9回開催	障害者支援センター松が丘園 喫茶麦の穂ほか	28

イ 施設体験・実習プログラム

- ① 近隣住民の方対象として、松が丘園祭でのボランティアを募集し、5名の方を受け入れた。
- ② 次年度実施に向けて、施設見学プログラム(施設見学コース①②福祉を学ぶコース①)、ボランティア体験プログラムの整備をした。

1 法人本部

(2)障害者支援センター管理事業

1 事業概要

障害者支援センター松が丘園全体に係る統括及び施設の維持管理を適宜実施し、利用者に安全・安心であり、職員が働きやすい施設環境の整備を進めた。

2 事業内容

(1)松が丘園全体に係る統括

項目	内容	実施日等
事務の効率化	経理事務の総務課への移管	順次実施
安全運転研修	自動車教習所での実車体験と座学	銀河から随時実施
衛生委員会	感染症、熱中症、メンタルヘルス対策等	毎月1回 (2, 3月は中止)
防災訓練(第1回)	火災想定、消火訓練	6/25・144名参加
防災訓練(第2回)	地震発生後の火災想定、消火訓練	11/20・130名参加

(2)施設の維持管理

修繕・機器項目	内容	施行業者
消防用設備修繕	ガス漏れ検知器、煙感知器等交換修繕	河本総合防災
建物・館内修繕	館内照明LED交換(2F作業ルーム等)	玉川電器
建物・館内修繕	トイレ手洗い修繕	野崎工業所
建物・館内修繕	電話、FAX回線不具合修繕	AICOM
建物・館内修繕	屋上送風機ファンベルト修繕	協立設備
災害備蓄品購入	福祉避難所用	イーエスシー

業務委託項目	内容	委託業者
清掃等	毎日の日常清掃及び年2回定期清掃	清美
警備	出入管理、巡回等警備 16:50~22:30	蒼鳳
機械警備	夜間機械警備 22:30~翌日 8:30	相模警備保障
一般廃棄物等回収、処理	一般・産業廃棄物の運搬、回収、処理	ダストソリューション
消防用設備保守点検	消火器具、屋内消火栓設備等の保守点検	河本総合防災
自家用電気工作物保守点検	受電設備、配電設備等の保守点検	関東電気保安協会
冷温水発生機保守点検	冷温水発生機保守点検・冷暖切替	テクノ矢崎
エレベーター等保守点検	エレベーター保守点検、24時間遠隔監視	日立ビルシステム
樹木剪定	敷地内樹木剪定	植義
害虫駆除	館内・厨房害虫駆除	大清産業

(3)災害対策

福祉避難所でより安全に過ごせるよう備蓄品の見直しを行い、福祉避難所の運営に必要な物品を追加購入した。また、地域の方々との意見交換や地域の防災訓練を見学し、理解を深めた。

(4)新型コロナウイルス感染症への対応

感染予防としてアルコール消毒液、サージカルマスク、ビニール手袋、非接触体温計、次亜塩素酸空間除菌脱臭機の購入を行った。また、ソーシャルディスタンス確保のため、可能な限り座席間の距離を空け、飛沫感染防止のためビニールカーテン等の設置を行った。

2 障害者支援センター相談支援事業所

1 事業概要

障害福祉サービス利用申請に当たって必要となるサービス等利用計画の作成及び施設や精神科病院等からの退所・退院を希望する障害者の地域移行・地域定着支援を行った。

(指定特定相談支援事業所、指定一般相談支援事業、障害児相談支援事業)

2 事業内容

サービス等利用計画及び障害児支援利用計画作成の状況

転居等での支援終了により契約者数は若干減少したが、厚生労働省から示されたモニタリング実施標準期間の見直しにより、モニタリング回数は大幅な増加となった。令和元年度は、モニタリング回数が増加し、利用者に対してより丁寧な支援をすることが可能となった。

単位:人(3月末時点)

年度	契約者数	内 訳		
		サービス等利用計画の作成 (特定相談支援)	地域移行支援 (一般相談支援)	障害児支援利用計画の作成 (障害児相談支援)
R元	280	263	1	16
30	298	278	1	19

3 障害者支援センター多機能型事業所

(1)生活介護事業

1 事業概要

医療的ケアが必要な方を含む、重度の障害のある方の活動の場として、一人ひとりが豊かな生活が送れるよう、安楽な環境を支援するリラクゼーション(休息)、健康管理、医療的ケア、食事の提供、創作活動・外出、送迎を実施した。

2 事業内容

(1)利用者登録者数(3月末日現在)

単位:人

年度	人数	性別		うち 要医療的ケア
		男	女	
R元	18	8	10	10
30	15	7	8	9

*全員が重症心身障害者認定及び障害支援区分6

(2)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R元	238	10	1,692	71.0%
30	238	10	1,535	64.5%

(3)入退所の状況

	人数	入所前の所属/退所先
入所	3	相模原中央支援学校2人、津久井養護学校1人
退所	0	

(4)提供したサービス内容

ア 安楽な環境の支援

利用者の身体に負担がかからないよう、安楽な姿勢(ポジション)の保持やボディタッチ等休息をとりながら活動した。また、安心して日中を過ごせるための環境整備として、キッズベッドと電動ベッドを購入し、休息場所を確保した。

イ 健康管理

看護師や嘱託医による健康状態の確認を行った。

ウ 食事の提供

利用者の摂食機能やアレルギーを考慮した食事の提供を行った。

エ 活動

① 季節的活動

鯉のぼり飾りつけ、七夕まつり、盆踊り、プール、菖蒲湯で足湯、すいか割り、ハロウィン、クリスマス会、書初め、正月遊び、節分豆まき、ひな祭り等

② 音楽活動

音楽療法(10回)、ボランティアによる音楽演奏会(14回)

③ 外出

花見、鯉のぼり見学、買い物、バスや電車での市内散策、古民家訪問、大学訪問

④ 園芸活動

ケアルームの敷地を活用した花々の植栽

⑤ その他

運動会、けやき体育館でのレクリエーション参加、調理・足浴等身体の五感に響くような活動等、虫歯予防週間、野球観戦

オ 社会体験

日中活動を事業所外で過ごし、より豊かな生活となるような経験の機会とした。

(内容)高尾山(TAKAO599ミュージアム)への外出:9月18日(水)・9月24日(火)

※2日間で利用者は14名が参加した(うち1名は人工呼吸器を使用している利用者)

カ 送迎

利用者の状況に応じて、リフト車等を使用して送迎を行った。

(送迎回数)

単位:回

年度	リフト車	ワゴン車等	合計
R元	1,124	317	1,441
30	1,040	313	1,353

(5)医療的ケア

日常生活で必要とする医療行為を主治医の指示の下、看護師が行った。

(医療的ケアの実施状況)

単位:回

年度	注入	吸引	吸入	酸素吸入	その他	合計
R元	710	464	183	32	103 (人工呼吸器管理44)	1,492
30	609	408	174	35	104 (人工呼吸器管理28)	1,330

(6)その他の事業

ア 実習生の受け入れ

次年度利用等に向けた実習生	神奈川県立相模原中央支援学校	2名・計4日
介護実習	神奈川県立津久井高校	2名・計3日
	相模原看護専門学校	5名・計3日
職場体験実習	相模原地区インターンシップ	2名・計9日
施設実習	一般社団法人 ラフレックス	6名・計4日
	ヘルパーステーション ユニコ	4名・計2名

イ 顔合わせ会等の実施

①顔合わせ会

新たに加わった利用者・職員の紹介や活動の報告等、家族を含めた懇談会を実施した。

実施日:7月1日(月)(利用者9名、家族9名、職員10名、計28名)

ウ 職員研修の実施

① 介護職員としての必要な知識・技術を、他の事業所職員と共に習得した。

回数	延べ参加者数	専門基礎研修 (施設支援・一時ケア事業と共同開催)
8	359	・摂食について～摂食・嚥下機能の基本、介助法、応用編～ ・重症児・者のこころの理解～セラピストからのメッセージ～ ・こころ良さを目指して～身体メカニズムと介助の方法～ ・人工呼吸器に関する勉強会

②専門家によるケア検討会の実施

利用者が安全・安楽に過ごすために、ポジショニングや摂食について専門家から技術を習得した。また、対象利用者に関わる保護者・市内事業所の職員にも参加を呼びかけ、利用者の支援について共通理解を深めた。

回数	延べ参加事業所数	延べ参加者数	備考
3	6	43	3月5日の第4回は中止

エ 医療的ケア委員会

医療的ケアを安全かつ適正に実施するために、常務理事を委員長とし、管理職、担当職員、看護師、嘱託医を委員とする医療的ケア委員会を開催し、医療的ケアの必要な新規利用者の利用及び追加項目の審議を行った。また、現行の役割を強化するため、嘱託医を医療的ケア総括医とした(年間9回)。

オ 関係機関との連携

①重症心身障害児者ネットワーク会議

市内重症心身障害児者の支援者間のネットワーク構築を目的として実施した。

回数	延べ参加事業所	延べ参加数	内容
4	71	128	・日中活動について(関係団体の情報共有) ・受入れに関して困っていること、工夫していること ・職員育成に関して

②神奈川県重症心身障害児者協議会への参加(総会、施設連絡会、幹事会、通所部会、看護部会)
神奈川県内の重症心身障害児者に関わる施設相互間の連携及び情報交換等を行った。

カ 地域とのつながり

- ① 近隣ボランティアとの交流 11回
- ② 近隣保育園との交流 1回

3 障害者支援センター多機能型事業所

(2) 自立訓練(生活訓練)事業

1 事業概要

将来的に就労を目指す若年障害者等を対象に、基礎的な生活力を身につけられるような支援を行った。また、利用者へ意向調査を行うことで、よりニーズに沿った講座企画を行った。

2 事業内容

(1) 利用者数(3月末日現在)

単位:人

年度	男	女	合計
R元	11	5	16
30	10	6	16

(2) 年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R元	238	18	3,520	82.2%
30	238	18	3,393	79.2%

(3) 提供したサービスの内容

ア 作業能力向上プログラム(企業受注作業)

年度	工賃合計	支給人数	平均工賃(月額/人)
R元	417,220円	192	2,173円
30	360,530円	183	1,970円

イ 就労準備基礎プログラム

テーマ	場所・内容	実施日・回数等
企業見学	(福)上溝緑寿会コスモスセンター (株)サンリオディストリビューションセンター	12月16日 2月10日
インターンシップ(職業体験)	松が丘園(就労移行支援事業所)	延べ9人・40日
ビジネスマナー講座	就労の心構え、ルールとマナー、 身だしなみ講座、県央障害者就職面接会 見学等	5月~9月 計5回
履歴書の書き方	氏名・住所・学歴・職歴等	3月23日

ウ 自立促進プログラム

事業名	実施回数
制度の利用援助	1回
コミュニケーショントレーニング(SST*を含む)	3回
調理実習	11回
金銭管理	随時
創作講座	25回
パソコン講座	48回
救急講座	1回
身だしなみ講座(入浴編)	1回
口腔ケア講座	1回
家事講座	4回

*SSTは Social Skills Training の略。対人関係技能の向上を目指す認知行動療法の1つ

エ 資格取得促進プログラム

事業名	実施期間	修了者数
ビルメンテナンス講座	4月～9月	14
介護技術講座	9月～2月	13
全身性ガイドヘルパー資格取得講座	2月～3月	11

オ 体力増進プログラム

事業名	実施回数
よさこい	64回
パークゴルフ	5回
ジムトレーニング	2回

カ ライフサポート講座

事業名	実施日
ライフサポート講座(4回) 延べ56人	交通安全・防犯講座(5/10)、食育講座(6/12)、 携帯利用講座(7/31)、

キ その他

事業名	実施日
社会人研修:検定試験	8月21日
多機能型事業所運動会	11月27日
成人祝賀会	1月8日
送別会	7月24日、11月13日

ク 地域との交流活動

よさこい発表 (8回)	7月20日(津久井養護学校)、8月17日(光が丘ふるさとまつり)、 9月21日(栄真学園)、10月13日(シルバータウン秋祭り)、 10月26日(松が丘園祭)、12月6日(けやき体育館フェスタ)、 12月15日(神奈川県障害者文化芸術祭)、1月16日(相模原中央支援学校)
----------------	---

ケ 余暇体験

余暇体験 (4回)	7月26日(相模原市立博物館)、8月22日(JAXA)、 9月6日(けやき体育館)、2月20日(相模原市立図書館)
--------------	--

(4) 日常生活の支援(就労移行支援事業・就労継続支援B型事業と共通)

ア 食事の提供

栄養士作成の献立によるバランスのとれた給食の提供を行った。
(厨房業務委託業者:ハーベスト(株))

イ 健康管理

・総合健康診断 7月4日
・定期健康相談 内科:2回/年 精神科:6回/年

ウ 苦情解決・権利擁護

福祉オンブズマンネットワーク来所相談 1回/月(8月、1月、3月を除く。)

エ その他

次年度多機能型事業所の利用契約説明会 1月27日、30日

3 障害者支援センター多機能型事業所

(3)就労移行支援事業

1 事業概要

一般就労を希望する障害者を対象に、就労にむけた各種プログラムを行った。加えて、個々の利用者の目標進路に応じた個別的な就労支援を行った。今年度の一般就労者は9名となった。

2 事業内容

(1)作業班別利用者数(3月末日現在)

単位:人

年度		男	女	計	合計
R元	食品喫茶班	3	3	6	7
	企業受注班	1	0	1	
30	食品喫茶班	2	2	4	9
	企業受注班	5	0	5	

(2)各月の利用者数の推移(当該月の最大値)

単位:人

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年平均
R元	17	18	16	15	13	12	12	11	9	9	8	8	12.3
30	14	13	13	14	13	12	12	10	10	9	10	10	11.7

(3)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R元	238	18	2,538	59.2%
30	238	18	2,543	59.4%

(4)就労状況

年度	人数	内訳	就労先
R元	9	男7 女2	トッパン・フォームズ(株)、相模原市教育センター、(株)ウエルストーンエクスプレス、佐川急便(株)、(福)上溝緑寿会コスモスセンター特別養護老人ホームコスモスホーム、(株)カワタキコーポレーション、わらべや日洋(株)、(株)富士薬品
30	9	男6 女3	(株)スリーエス・サンキュウ相模原常温センター、NEC ファシリティーズ(株)、小松会病院、(株)レンティック中部伊勢原事業所、(株)丸和運輸機関、(株)ハートフルアクア、(株)トラスト・テック・ウィズ、(福)大地の会特別養護老人ホーム塩田ホーム

(5)提供したサービスの内容

ア 作業能力向上プログラム(食品喫茶作業、企業受注(箱折り等)作業)

年度	工賃合計	支給人数	平均工賃(月額/人)
R元	2,847,380円	146	19,503円
30	3,166,010円	135	23,452円

※工賃合計が減少したのは、講座開催によるパン販売日の減少のため

イ 就労準備プログラム

テーマ	場所・内容	実施日・回数等
企業見学会	湘南ゼミナール(株)、おれんじ・ふおれすと(株)、佐川急便(株)相模原緑営業所、	4回

	㈱スリーエス・サンキュウ相模原常温センター	
職場見学	けやきカフェ、あじさいメイツ事務局、㈱ウエルストーンエキスプレス相模原営業所、佐川急便㈱相模原緑営業所、東京濾器㈱相模第二工場、わらべや日洋㈱相模原工場、㈱カワタキコーポレーション、㈱パルライン相模センター、トッパン・フォームズ・オペレーション㈱、㈱富士薬品ドラッグセイムス南橋本店	延べ23回
インターンシップ	けやきカフェ あじさいメイツ事務局	延べ9人・43日 延べ5人・15日
ビジネスマナー講座		随時実施
履歴書の書き方		随時実施
就労準備講座	働くことについて	4月12日

ウ 一般就労移行支援プログラム

テーマ	場所・内容	実施日・回数等
面接対策講座		随時実施
ハローワーク利用法講座		6月17日
企業実習	(福)上溝緑寿会特別養護老人ホームコスモスホーム 相模原市教育センター 佐川急便㈱相模原緑営業所 わらべや日洋㈱相模原工場 富士薬品ドラッグセイムス南橋本店 トッパン・フォームズ・オペレーション㈱ 東京濾器㈱相模第二工場	1人・7日 1人・5日 1人・2日 1人・5日 1人・10日 2人・13日 1人・5日
求職活動支援		随時実施
職場定着支援	会社訪問、来所面談	延べ96人
就職ガイダンス		4回
職業評価		10人
TTAP	※TTAP:自閉症スペクトラム移行アセスメントプロフィール	3人

エ 自立促進プログラム

- ① 生活力アップ講座 3回
- ② スキルアップ講座 全体1回、個別随時
- ③ コミュニケーショントレーニング 随時
- ④ パソコン講座 25回

オ その他

事業名	実施日
多機能型事業所運動会	11月27日
体験学習:ピオトピア	12月13日
社会人研修	8月21日
成人祝賀会	1月8日
送別会	7月24日、11月13日
余暇活動支援	7月12日、2月20日、2月21日
就労アセスメント	4回

(6)日常生活の支援

3-(2)自立訓練事業の「(4)日常生活の支援」に記載の内容に同じ(p.11)

3 障害者支援センター多機能型事業所

(4)就労継続支援B型事業

1 事業概要

障害種別を問わず、地域の潜在的な通所ニーズに対応した。生産活動を通して就労意欲や生産能力の向上を図り、利用者個々の要望に合わせた支援を行った。

2 事業内容

(1)利用者数(3月末日現在)

単位:人

年度	男	女	合計
R元	10	3	13
30	12	2	14

(2)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R元	238	14	2,056	61.7%
30	238	14	1,939	58.2%

(3)提供したサービスの内容

ア 作業能力向上プログラム

①企業受注作業

年度	工賃合計	支給人数	平均工賃(月額/人)
R元	1,472,300円	153	9,623円
30	1,981,780円	146	13,574円

※工賃合計が減少したのは、新型コロナウイルスの影響による看板製作の注文数減少のため

②自主製品の充実・販路拡大

- ・各種販売会、ワークショップ等への参加 1回
- ・陽光園販売 9回
- ・和泉短期大学販売 9回
- ・自主製品のデザインの変更
- ・点字印刷 13件

③個別の適性に配慮した作業展開 随時実施

イ 就労準備プログラム

- ① ビジネスマナー講座 1回
- ② 履歴書の書き方 2回
- ③ 就労準備講座 1回(就労に向けた具体的イメージづくり)

ウ 一般就労移行支援プログラム

- ①面接対策講座 1回
- ②企業実習 2日(1人)
- ③求職活動支援 随時実施
- ④就職ガイダンス 1回
- ⑤職業評価 1人

エ 自立促進プログラム

- ①制度の利用援助 2回
- ②見学援助及び情報提供 1回
- ③スキルアップ講座 3回(コミュニケーションスキルトレーニング2回含む)
- ④パソコン講座 28回
- ⑤身だしなみ講座(応用編) 1回

オ 社会体験

内 容	実施日
スカイツリー	7月5日
京王プラザホテル・サンリオピューロランド	9月12日
イオンモール座間・中古タイヤ市場自動販売機	2月7日

カ 事業所見学会

内 容	実施日
エルズエフ(就労継続支援A型事業)	7月2日
サニースポット相生(就労継続支援B型事業)	9月2日、2月25日
くれあ(就労継続支援B型事業)	9月5日
陽だまり(就労継続支援B型事業所)	9月6日
グリーンハウス(就労継続支援B型事業)	12月23日

キ その他

内 容	実施日
社会人研修:検定試験	8月21日
多機能型事業所運動会	11月27日
成人祝賀会	1月8日
送別会	7月24日、11月13日
利用者懇談会	4月5日、5月8日、6月14日、7月19日、 9月25日、11月25日、1月24日、 2月13日、3月19日
社会生活向上実践講座	5月8日(レストランKAZU) 7月19日(ニトリモールフードコート) 1月24日(ニトリモールフードコート)

(4)日常生活の支援

3-(2)自立訓練事業の「(4)日常生活の支援」に記載の内容に同じ(p.11)

3 障害者支援センター多機能型事業所

(5)就労定着支援事業

1 事業概要

就労移行支援事業等の利用を経て一般就労へ移行した障害者に対し、相談や企業訪問を通じて企業や家庭等と連携を図り、働くことに伴う課題を確認し、就労定着に必要な支援を行った。また、訪問型職場適応援助者養成研修を修了した担当者を配置し、より専門的な支援を行えるようになった。

2 事業内容

(1)のべ契約者数

単位:人

年度	男	女	合計
R元	17	7	24
30	11	5	16

(2)年間支援状況

就労者の職場定着支援するため、企業への巡回訪問や、利用者や家族等の面談を行い、企業や家庭との連携を図った。

単位:件

年度	企業訪問	来所	電話等	合計
R元	110	156	544	810
30	90	90	187	367

(3)支援企業状況

就 労 先	対象者数
東京濾器(株)相模第1工場	1
(福)幸会 特別養護老人ホーム大野台幸園	1
(株)ヴァリック コート・ダジュールつきみ野店	1
(株)ビーネックス・ウィズ	4
おれんじ・ふおれすと(株)	1
プライムデリカ(株)相模原第一工場	1
(株)ラッシュジャパン	1
神奈川スタッフ(株)	1
(福)恩賜財団神奈川県同胞援護会相模原養護老人ホーム	1
(医社)小松会 小松会病院	1
昭和電線ケーブルシステム(株)相模原事業所	1
NECファシリティーズ(株)	1
(株)レンティック中部伊勢原事業所	1
(株)スリーエス・サンキュウ	1
(福)大地の会特別養護老人ホーム塩田ホーム	1
(株)丸和運輸機関	1
(株)ハートフルアクア	1
トッパン・フォームズ・オペレーション(株)	1
(株)ウエルストンエクスプレス相模原営業所	1
佐川急便(株)相模原緑営業所	1
(福)上溝緑寿会コスモスセンター特別養護老人ホームコスモスホーム	1

4 銀河

(1)生活介護事業

1 事業概要

一人ひとりがその人らしい充実した生活を送れるよう、食事や排泄等の介護を実施して身体能力及び日常生活能力の維持・向上を図るための支援を行った。

活動は、本人の希望に応じてグループや個別又は少人数での外出行事を行うなど、個々の特性やニーズに応じた支援を行うとともに、様々な体験活動を通して、利用者の社会参加を実現するための支援を行った。

2 事業内容

(1)利用者数(令和2年3月末現在)

単位:人

年度	男	女	合計
R元	29	13	42
30	29	12	41

(2)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R元	237	40	8,299	87.5%
30	237	40	8,108	85.5%

(3)活動

(ア)日常生活の支援

- a 個別支援計画の作成(個別支援検討会 54回実施)
- b 相談支援
- c 健康診断(9月13日)・健康相談(1月24日)

(イ)送迎

送迎車5台で6コースの送迎を実施した。

(ウ)食事の提供

アレルギーや摂食機能に配慮した食事を提供した。

(エ)日中活動・活動プログラム

内 容	実施回数等
創作活動	ビーズや布草履、小物、季節に合わせた作品等に取り組んだ。
音楽活動	カラオケ、フルート演奏等を楽しんだ。
園芸活動	多肉植物の栽培やプランターを使用した園芸活動を行った。大沢ボランティアの協力を得て「花のまちづくり、みどりいっぱい運動」に参加した。
健康づくり	ラジオ体操や散歩、ホールでのダンスなどを行った。
レッツミュージック	12回実施
マイチョイス (音楽・体操・図工)	12回実施
エクササイズ (体操・ヨガ・エアロビクス)	30回実施

(オ)行事

内 容	実施回数等
バス旅行	前期 7月5日 後期 11月8日
お楽しみ外出	前期 6月～9月 9グループ 後期 10月～2月 10グループ
レストランランチ	9グループ(10月から2月)
映画鑑賞	12回
お花見	淵野辺公園桜並木、芝桜等を楽しんだ。
夏祭り	8月2日
松が丘園祭	10月26日
忘年会・新年会	忘年会 12月25日 新年会 1月21日
お茶会	3月25日
音楽交流会	9月25日
その他	ゆかた撮影会、ハロウィン撮影会、豆まき、パレ ンタイン、活動 DVD 鑑賞

(カ)地域交流・ボランティア受け入れ

内 容	実施回数等
カット(理容)ボランティア	3回 延べ39名カット
大沢地区男性ボランティア	1回 3名
その他	ハワイアンバンド 3回 読み聞かせ 2回 ママさんコーラス 1回 バルーンアート 1回 松が丘園祭 1回 4名 活動支援 4回
近隣大学との交流	相模女子大学との交流 8名 和泉短期大学軽音サークル 5名 和泉短期大学読み聞かせ・工作 1名

(キ)その他

- a 福祉オンブズマンネットワーク活用<年9回来所>
- b 利用者満足度調査の実施<年1回実施> *結果概要はp.4参照
- c 防災訓練の実施<防災訓練2回、避難訓練10回>
- d 「銀河だより」発行<3回発行>
- e 家族報告会

実施日	出席者等
第1回 9月20日	出席 15名 DVD配布 21名
第2回 2月21日	出席 13名 DVD配布 24名

- f 学生実習受け入れ
介護等体験実習 11名(延べ117日)
- g 見学受け入れ
支援学校、他施設職員等の見学 78名

4 銀河

(2)ガイドヘルプサービス事業所

1 事業概要

移動・外出に困難を有する障害児・者を対象に、移動の援護、排泄・食事の介助、代筆・代読を含む視覚的情報の支援などを行うガイドヘルパーを派遣した。

また、登録ヘルパーの資格取得及び新たなヘルパーの育成のため「同行援護従業者養成研修」と「知的障害者ガイドヘルパー養成研修」を開催した。

2 事業内容

(1)ガイドヘルパーの利用件数及び利用時間

前年度比で利用件数は11%、利用時間は11.3%減少した。新型コロナウイルス感染症の影響により、2月以降は日常生活の維持に必要な外出に限定し、派遣件数、派遣時間が大幅に減少した。

ア 身体障害者 ()は同行援護の状況

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R元	66	3,540	17,856時間30分	5時間02分
	(60)	(3,447)	(17,354時間30分)	(5時間02分)
30	63	3,913	19,949時間00分	5時間05分
	(56)	(3,794)	(19,257時間00分)	(5時間04分)

イ 知的障害者

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R元	45	584	2,333時間00分	3時間59分
30	41	715	2,862時間30分	4時間00分

ウ 障害児

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R元	8	43	162時間00分	3時間46分
30	7	28	130時間00分	4時間39分

エ 合計

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R元	119	4,167	20,351時間30分	4時間53分
30	111	4,656	22,941時間30分	4時間56分

(2)ガイドヘルプサービスの質の向上

登録ヘルパーが現場業務に必要とされる知識や技術を得るために、年4回の研修を実施した。
また、外出を支援するガイドヘルパーを養成するための資格取得研修を実施した。

ア 定期研修

実施日	内 容	人数
4月18日 19日	「登録ガイドヘルパーマニュアル」の説明	49
8月20日 21日	同行援護フォローアップ研修(前期) 利用者のニーズに添った支援の在り方(座学)	40
11月21日 22日	日ごろの支援を振り返る	42
2月18日 19日	同行援護フォローアップ研修(後期) 主体は利用者(座学)	36
合計4回	—	167

イ 同行援護従業者養成研修

実施日	形態(時間数)	人数
①6月17日～20日 ②12月17日～20日	講義と演習(33.5時間)	18

ウ 知的障害者ガイドヘルパー養成研修

実施日	形態(時間数)	人数
①7月13日～8月9日 ②2月16日～3月9日 (①②共に上記期間中のうち3日間)	講義(13時間) 実習(6時間)	25

(3)登録ガイドヘルパーの確保

ガイドヘルパーを確保するために、年間を通して募集を行った。

年度	登録ヘルパー数(3月末現在)
R元	62
30	67

5 障害者支援センター

(1)障害者地域就労援助センター事業

1 事業概要

企業開拓、求人情報と求職者のマッチング機会の拡大、職場定着支援の効率化などを図りながら、障害のある方の多様なニーズに応える就労支援を行った。

なお、「障害者就業・生活支援センター事業」、「相模原市発達障害支援センター就労支援事業」及び「無料職業紹介事業」との一体的な運営により就労支援を行った。

また、より良い支援の一環として、就職支援に係る支援計画の作成を順次行うとともに、企業アセスメントも順次行い、障害者との適切なマッチングに努めた。

2 事業内容

(1)事業所開拓の状況

本人の希望と適性に合った企業を開拓し、利用者の職域拡大と適職に就くための支援を行った。ハローワークの求人情報を積極的に活用するなどの取組により、例年同様の開拓件数となった。

単位:件

年度	開拓状況	協力企業	検討中企業
R元	1,484	98	0
30	1,387	63	1

(2)就労状況

障害者雇用率の引き上げ、人材確保等に伴う企業の障害者雇用への意欲の高まりや、当センターにおけるハローワークの求人情報などの活用等が相まって、就労者数は増加した。

単位:人

年度	就労者	男	女
R元	88(9)	62(7)	26(2)
30	71(9)	46(6)	25(3)

*1 ()は障害者支援センター多機能型事業所の登録者の就労及びトライアル雇用の状況

*2 就労継続支援A型事業所への就労者は含まない。

	令和元年度の主な就労先	所在地
男 62人	アマノ(株)相模原営業所	緑区長竹
	コニカミノルタウィズユー(株)	八王子市
	HITOWAケアサービス(株)イリーゼ相模大野	南区上鶴間本町
	みらかホールディングス(株)(スタートライン内相模原第2センター)	中央区相模原
	(福)相模原市社会福祉事業団けやき体育館	中央区富士見
	鴻池運輸(株)関東中央支店海老名事業所	海老名市
	(株)第五電子工業	緑区橋本台
	(株)コバヤシ精密工業	南区大野台
	(株)リョーサン	川崎市麻生区
	アブラックハートフルサービス(株)	調布市
	トヨタカローラ神奈川(株)	横浜市保土ヶ谷区
	一般社団法人ラフレックス	南区相南
	トッパン・フォームズ・オペレーション(株)	南区大野台
	ワタミ手づくり厨房相模原センター	中央区田名
	イオンリテール(株)イオンスタイル多摩平の森店	日野市
	相模原市総務局総務部職員課	中央区中央

	(株)北欧トーキョー	座間市
	ウエルシアオアシス秦野平沢店	秦野市
	(有)セ・ラ・セゾン	中央区矢部
	(株)ライフコーポレーションライフ若松店	南区若松
	(株)ロピア西橋本店	緑区西橋本
	(株)大京穴吹不動産	東京都渋谷区千駄ヶ谷
	AGCマテックス(株)	中央区宮下
	アイトスプラス(株)	海老名市
	(株)チクブパッケージシステム	南区大野台
	(株)すかいらくジョナサン相模原横山店	中央区横山
	(株)ハートフルアクア	南区大野台
	社会福祉法人シルヴァーウィング	東京都中央区新富
	(株)東急ウィル	川崎市中原区
	(株)カービューティーサービス	中央区下九沢
	日産自動車(株)座間事業所	座間市
	大久保歯車工業(株)	厚木市
	トーカイ・パッケージングシステム(株)	海老名市
	(株)はま寿司海老名ピナウオーク店	海老名市
	(株)スーパーレックス	中央区清新
	相模原市役所文書集配センター	中央区中央
	(株)東陽テクニカ辰巳倉庫	東京都江東区辰巳
	岩井機械工業(株)厚木工場	厚木市
	相模原市役所総務局教育総務室	中央区中央
	相模原市教育委員会教育センター	中央区中央
	UFJリース(株)	東京都千代田区神田小川町
	財務省	東京都千代田区霞が関
	(株)ウエルストーンエクスプレス相模原営業所	中央区清新
	みずほビジネス・チャレンジド(株)	町田市
	社会福祉法人泰成会泰政園	中央区中央
	佐川急便(株)相模原緑営業所	中央区小町通
	相模原市教育委員会(大島小学校・内出中学校)	緑区大島・下九沢
	医療法人杏林会リハビリパーク城山	緑区久保沢
	(株)コープデリバリー	座間市
	東京濾器(株)第2工場	中央区田名塩田
	(株)カワキタコーポレーション	座間市
	わらべや日洋(株)相模原工場	中央区宮下
	新百合ヶ丘総合病院	川崎市麻生区
	社会福祉法人泰成会特別養護老人ホームレガメ町田	町田市
	(株)ビーネックスウィズ	中央区南橋本
	相模原市役所職員課(作の口小学校)	緑区下九沢
	富士薬品(株)セイムス南橋本店	緑区南橋本
	商船三井テクノトレード(株)(スタートライン内IBUKIEB INAFARM3)	海老名市
女 26人	(株)ビーネックスウィズ	中央区南橋本
	サイゼリヤ湘南台ウエストプラザ店	藤沢市
	イオンリテール(株)イオン橋本店	緑区橋本
	(株)アイネット・データサービス	横浜市戸塚区
	シルバータウン相模原特別養護老人ホーム	南区大野台

	草加福祉会特別養護老人ホームマナーハウス麻溝台	南区北里
	コニカミノルタウィズユー(株)	八王子市
	サンデリカ相模原事業所	緑区町屋
	アズビル山武フレンドリー	藤沢市
	(株)クリエイティブギン	横浜市神奈川区
	(株)広和産業	中央区小山
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	厚木市
	横浜市青葉区役所戸籍課	横浜市青葉区
	(福)相模原市社会福祉事業団	中央区松が丘
	(株)ハートフルアクア	南区大野台
	日産自動車(株)座間事業所	座間市
	相模原市役所職員課職員研修所	中央区富士見
	(株)アルプス技研	緑区西橋本
	(福)上溝緑寿会特別養護老人ホームコスモスホーム	中央区上溝
	宮下製作所	緑区橋本台
	ソディック(スタートライン内IBUKIEBINAFARM2)	海老名市
	相模原市役所職員課事務サポートセンター	中央区中央
	相模原市役所障害政策課	中央区中央
	(株)ミュゼプラチナム東急八王子スクエア店	八王子市
	トッパン・フォームズ・オペレーション(株)	南区大野台
88人	—	

(3)就労後の支援状況

就労者の職場定着を支援するため、企業への定期的な巡回訪問や、就労者からの相談等に対応した。養護学校卒業時に就労が決まった生徒に関しては、3年間の移行期間を経て、学校から就労援助センターへ定着支援を引き継ぐ流れができているため、定着支援の対象となる在職者は年々増加する状況である。

在職者数 (令和2年3月31日現在)	581人
-----------------------	------

年度	企業訪問等	その他	合計
R元	1,416件	493件	1,909件
30	1,709件	665件	2,374件

(4)職場実習の実施

年度	対象者数	延べ日数
R元	64	233
30	79	348

実習先	対象者数
相模原市役所総務局総務部職員課	1
(有)セ・ラ・セゾン	1
社会福祉法人上溝緑寿会特別養護老人ホームコスモスホーム	1
相模原市役所文書集配センター	1
ネットトヨタ神奈川	1
相模原市役所総務局教育総務室	1
相模原市役所職員課職員研修所	1
幸会特別養護老人ホーム大野台幸園	2

相模原市勤労者福祉サービスセンター	21
けやきカフェ	16
社会福祉法人泰成会泰政園	1
(株)ビーネックスウイズ	5
佐川急便(株)相模原緑営業所	1
薬樹ウィル(株)	2
日本郵政(株)八王子南郵便局	2
(株)ミュゼプラチナム東急八王子スクエア店	1
クリークアンドリバー社(スタートライン内)	1
悠生苑	1
東京濾器(株)第2工場	1
はーとふる農園	3

(5) 就労援助センター利用状況

年度	新規相談者数	新規登録者数	作業室利用者数
R元	122	88	延べ 37
30	171	117	延べ 42

ア 新規相談者の状況

① 所属別

単位:人

年度	地域作業所	施設	企業	在宅	在学	不明	合計
R元	3	8	31	41	39	0	122
30	7	21	45	58	40	0	171

② 障害別

単位:人

年度	知的障害	身体障害	精神障害	その他	合計
R元	60	14	42	6	122
30	74	17	66	14	171

③ 年齢別

単位:人

年度	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50歳以上	不明	合計
R元	40	29	17	19	17	0	122
30	52	36	31	26	26	0	171

イ 新規登録者の状況 <所属別>

単位:人

年度	地域作業所	施設	企業	在宅	在学	合計
R元	0	9	58	21	0	88
30	0	23	58	36	0	117

<参考> 令和2年3月31日現在の登録者数892人

ウ 就労準備プログラムの実施

年度	延べ参加者数	講座回数	主な内容
R元	37	8	会社体験、模擬面接会 等
30	42	8	会社体験、模擬面接会 等

(6) 無料職業紹介事業

年度	事業所登録数	求人件数	求職票提出件数	紹介件数	就職件数
R元	26	34	91	34	34
30	15	29	117	31	31

(7)その他の事業

ア 就労援助セミナーの実施

年度	参加者数	実施日	内 容
R 元	6	2月21日	・障害者就労援助事業における就労支援・定着支援の 実践報告 ・就労アセスメントの実際等
30	10	3月7日	・障害者就労に関する実績報告、障害者雇用に関する 制度の情報提供等 ・就労支援に役立つアセスメント ・当センターの定着支援の現状等

イ 各種研修の実施

年度	参加者数	講座回数	主な内容
R 元	20	3	・面接トレーニング ・就労援助に役立つアセスメント
30	41	4	・面接トレーニング ・就労援助に役立つアセスメント

ウ 社会生活技能訓練(SST講座)の実施

実施日	参加者数	内 容
11月30日	4	求職活動中及び就労中の方向けのSST講座①
12月7日	4	求職活動中及び就労中の方向けのSST講座②
12月21日	4	求職活動中及び就労中の方向けのSST講座③

エ 生活力アップ講座(法人内連携事業)の実施

実施日	参加者数	内 容
11月24日	21	スマホ・ケータイ安全教室

オ 就労援助センター情報の発行

発行月	配布先
5月・8月・11月・2月	就労援助センター登録者

カ フォローアッププログラム(余暇的定着支援)の実施

実施日	参加者数	内 容
6月1日	17	運動しよう! ~卓球~
9月8日	14	お出かけをしよう!
10月6日	20	ボウリング大会
11月24日	21	交流会&お茶会
12月16日	21	カラオケ大会
2月9日	4	交流会&お茶会
3月13日	(中止)	交流会&お食事会

キ 関係機関等との連携

日 時	参加回数	内 容
5月14日ほか	5	さがみはら精神障害者就労支援協議会への参加
5月16日ほか	4	NPO法人障害者雇用部会への参加
11月24日ほか	2	難病対策地域協議会への参加

ク 緑障害者相談支援キーテーションにおける就労相談の実施

就労相談機能拡充の一環として、緑障害者相談支援キーテーション内に就労相談窓口を設置し、相模原市津久井方面の就労相談者に対応した。

年度	新規相談件数	継続相談件数
R元	7	74
30	29	99

ケ 精神保健福祉センターとの連携

精神保健福祉センターと連携し、在宅の精神障害者を対象に、就労への意欲向上、社会参加への動機付けを促進するため、企業内での実習を行った。

年度	延べ協力企業数	延べ参加者数
R元	1社	5名
30	1社	5名

コ 大学等、在学中の学生支援に関する連携と支援

年度	訪問等回数	連携先
R元	5	大妻女子大、明星大、青山学院大、就労移行事業所ワークアシスト他

サ 障害者就労支援調査の受託

相模原市からの受託事業として、市内で就労支援を行っている障害福祉サービス事業所等の経営実態、事業の実施状況及び今後の展望等を把握するための、障害者就労支援調査を実施した。

5 障害者支援センター

(2)障害者就業・生活支援センター事業

1 事業概要

就職を希望する障害者や在職中の障害者に対して、雇用及び福祉の関係機関との連携の下、就業面及び生活面の一体的な支援を行った。

また、企業開拓、求人情報と求職者のマッチング機会の拡大、主任職場定着支援担当者の配置、職場定着支援の効率化などを図るとともに、就職支援に係る支援計画の作成を順次行い、障害のある方の多様なニーズに応える就労支援を行った。

なお、「就労援助センター事業」、「相模原市発達障害支援センター就労支援事業」及び「無料職業紹介事業」との一体的な運営により就労支援を行った。

2 事業内容

(1)事業所開拓の状況 ～ (6)無料職業紹介事業 については、
5-(1)障害者地域就労援助センター事業の内容を参照(p.22～25)

(7)就労支援ネットワークの構築

名称	実施日	出席者	内容
相模原・県央地域 障害者雇用のための 企業交流会	7月31日	30名	中小企業を対象とし、障害者雇用意欲促進のため神奈川県、県央地域障害者就業・生活支援センターぽむと共催で行う
情報共有化会議	5月28日	8機関	・各機関の支援状況について ・主要協議事項等
	7月23日	9機関	・各機関の実施状況について ・事例検討等
	9月24日	6機関	・各機関の実施状況について ・事例検討等
	11月19日	8機関	・各機関の実施状況について ・事例検討等
	1月23日	7機関	・各機関の実施状況について ・事例検討等
相模原障害者 就労支援連絡会	7月23日	25機関	・各機関の実施状況について ・31年度の連絡会の運営方法等について
	1月23日	24機関	・各機関の実施状況について ・事例検討から見える地域課題等 ・(仮称)就労移行支援事業所合同面接会について

(8)その他の事業

ア 職場定着支援促進のための在職者の交流活動

実施日	参加者数	内 容
10月26日	20	時事、社会常識クイズ大会等
11月24日	21	人とうまくつきあう方法～こんなことに気をつけよう～
2月9日	4	休日の過ごし方(パステルアートを学ぶ)
3月13日	(中止)	買い物を学ぶ

イ 関係機関等との連携

日 時	参加回数	内 容
5月10日ほか	5	地域連携のためのワンストップ相談への対応
11月8日ほか	2	神奈川障害者就業・生活支援センター連絡会議への参加

ウ 市内の就労支援事業者等に対する支援

日 時	内 容
2月17日	基幹相談支援センター共催「障害者虐待防止・権利擁護研修」 研修講師
2月19日	相模原市発達障害支援センター主催「就労準備セミナー」研修講師
2月21日	福祉研修センター共催研修「就労援助セミナー」研修講師

5 障害者支援センター

(3)地域障害者施設支援事業

1 事業概要

障害福祉に関する幅広い研修を体系的に行うことにより、市内障害福祉従事者の支援技術を向上し、地域の福祉力を高めるとともに、市民等を対象にした障害福祉への理解を促進するための研修、障害当事者やその家族への情報提供を目的とした研修を実施した。また、障害福祉サービス事業所の人材確保、工賃アップに向けた支援及び障害福祉サービス事業所や団体の活動支援を行った。

2 事業内容

(1)福祉研修センター事業

ア 主催研修の実施

年度	開催回数	参加者数	主な内容
R元	51回	1,580人	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉基礎研修 15回 ・支援技術研修 16回 ・新規採用職員、管理運営業務、特別研修 5回 ・障害当事者、家族、市民等向け研修 16回
30	76回	1,908人	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉基礎研修 18回 ・支援技術研修 21回 ・障害当事者、家族、市民等向け研修 37回

※令和元年度実施状況の詳細は巻末の研修一覧表参照

イ 研修受講履歴カードと研修受講修了証の作成

年度	説明会参加者数	研修受講履歴カード作成数	修了証作成・交付人数
R元	29人	29件	11人
30	24人	21件	11人

ウ 研修情報の集約と発信

福祉研修センターが主催する研修のほか、関係機関・団体等が開催する障害福祉関連の研修情報を取りまとめ、毎月1回「研修情報定期便」として、障害福祉サービス事業所に情報提供を行った。

年度	年間件数(うち外部研修実施機関)	配布事業所数
R元	242(30)件	16,253か所
30	260(34)件	6,686か所

エ 福祉研修センター事業 意見交換会

市内の障害福祉団体及び障害福祉関係者に学識経験者を交えて、福祉研修事業に関する意見交換会を実施した。

オ 研修に関する企画支援

市内の障害福祉サービス事業所・団体等で開催する研修の企画支援を実施した。また、障害福祉サービス事業所や団体等の要望に応じ、事業団職員を研修の講師などとして派遣をした。

①研修実施支援

年度	回数	相談内容
R元	10回	講師選定、研修の周知方法、他の研修実施機関
30	3回	講師選定、研修の周知方法、他の研修実施機関

②派遣実績

年度	回数	主な派遣先	講義内容等
R元	31回	神奈川県 ケアマネ包括交流会 社会福祉法人かむ地域活動支援センターカミング 民生委員児童委員協議会 神奈川県知的障害施設団体連合会 特定非営利活動法人ほっと 相模原市発達障害支援センター さがみはら精神障がい者就労支援協議会 福祉サービス課 基幹相談支援センター 福祉研修センターほか	神奈川県相談支援従事者初任者研修 演習ファシリテーター 知っておきたい！障害者相談支援 神奈川県相談支援従事者初任者研修 強化研修演習ファシリテーター 相談援助技術とロールプレイ 神奈川県サービス管理責任者研修 神奈川県相談支援従事者現任研修 神奈川県障害福祉職員実践報告会 虐待防止研修(民生委員向け) ストレングスとエンパワメントを知る ケアマネジメント 福祉サービスについて学ぼう 相模原市立小学校長会児童課題研究 障害者虐待防止・権利擁護研修 就労準備セミナー 高次脳機能障害セミナー 就労援助セミナー ほか
30	39回	神奈川県 ほか	県相談支援従事者現任研修 ほか

(2)障害福祉サービス事業所等人材確保事業

市内の障害福祉サービス事業所等の人材を確保するとともに、障害者支援の仕事の魅力を広く市民に伝えるためのイベントの開催等を行った。なお、実施にあたっては、近隣大学等への情報提供を積極的に行った。

また、障害福祉サービス事業所の求人情報を常時閲覧できる「就職情報コーナー」をけやき体育館内に新規に設置した。

ア イベント

①「さがみはら介護・福祉のしごと就職相談会」(相模原市共催)

年度	実施日	場 所	出展法人数	来場者数	相談者数
R元	10月11日(金)	ユニコムプラザさがみはら	24法人	50人	延べ60人
30	11月24日(土)	相模原市立産業会館	35法人	50人	延べ65人

②「福祉のしごと相談会 in さがみはら」(相模原市社会福祉事業団主催)

年度	実施日	場 所	出展法人数	来場者数	相談者数	面接等数
R元	1月24日(金)	杜のホール はしもと多目的室	18法人	19人	延べ 47人	延べ 3人
30	10月14日 (日)	杜のホール はしもと多目的室	17法人	45人	延べ 130人	延べ 7人

イ 福祉求人閲覧コーナーの設立

けやき体育館へ的一般来場者の方が、障害福祉サービス事業所の求人情報を常時閲覧できるための「就職情報コーナー」を、けやき体育館内に新規に設置した。

(3)工賃アップ支援事業

市内の障害福祉サービス事業所等が生産活動を充実し、利用者の工賃アップにつながるための支援を行った。

ア 受注作業・自主製品作業紹介事業

官公需の受注や市内の企業への訪問などによる作業の開拓を行う受注調整窓口を設置し、受注を希望する障害福祉サービス事業所等へ作業の紹介を行った。自主製品の販売にあたっては、市の外郭団体の協力による販売会などを実施した。

年度	紹介件数	主な内容
R元	43件	DM封入、記念品、こけ玉作り、チラシ折り、手帳の分解・仕分け・組み立て、クッキー製造・袋詰、ドライフルーツや紅茶等の計量・袋詰め、スカーフ・のぼり旗作成 ほか
30	131件	テーブルクロス製作、弁当、記念品、パンフレット・チラシ・冊子等の印刷、電子部品加工、パンフレット等の帳合、化粧箱の組立、啓発物品の作成、缶バッジの製作

イ バオバブ・福祉ショップあおば・麦の穂・販売会年間売上額

単位:円

年度	ハンドメイド ショップ バオバブ (あじさい会館)	福祉ショップ あおば (ユーコープ 並木あおば店)	麦の穂 (松が丘園)	販売会 出店支援	合計
R元	10,829,120	476,740	201,330	33,760	11,540,950
30	12,408,421	483,430	248,150	828,130	13,968,131

ウ 受注促進連絡会の実施に関する検討

「受注作業を希望！障害福祉サービス事業所一覧」に掲載されている事業所に対し、受注作業の開拓や紹介、販売会への支援などを行った。

(4)地域作業所等の運営に関する支援・相談事業

年度	運営相談件数	地域活動支援センター等 運営委員会への出席回数	事務機器の提供件数
R元	0件	5回	342件
30	1件	7回	104件

(5)団体への支援

相模原市障害者地域作業所等連絡協議会・相模原福祉オンブズマンネットワーク

年度	会議等の開催回数	事業等の支援回数
R元	30回	51回
30	72回	70回

(6)その他

ア 松が丘園通信の発行

発行月	配布先
4月・6月・8月・10月・12月・2月	障害福祉サービス事業所・行政機関等の関係機関

イ 大学生の社会福祉士相談援助実習生の受入

8月6日～9月13日(24日間)	田園調布学園大学から1名受入
1月28日～3月6日(24日間)	桜美林大学から1名受入

5 障害者支援センター

(4)手話通訳者等養成事業

1 事業概要

聴覚障害者のコミュニケーションを円滑にし、社会参加を促進するために必要な手話通訳者および要約筆記者の人材育成を行った。

2 事業内容

単位:人

年度	内 容	受講者数	修了者数
R 元	手話講座・初級 (金曜日 19:30~21:30・全29回)	23	20
	手話講座・中級(基礎編) (火曜日 10:00~12:00・全34回)	29	25
	手話講座・フォローアップ (水曜日 10:00~12:00・全36回)	7	6
	手話上級講座・通訳者養成課程(県委託) *人数は下記注記参照	3	2
	要約筆記者養成講座(手書きコース) (木曜日 10:00~12:00・全41回)	3	2
	要約筆記者養成講座(パソコンコース) (木曜日 10:00~12:00・全42回)	4	2
30	手話講座・初級 (火曜日 10:00~12:00・全31回)	33	28
	手話講座・中級(基礎編) (金曜日 19:30~21:30・全36回)	40	21
	手話講座・フォローアップ (水曜日 10:00~12:00・全38回)	14	7
	手話上級講座・通訳者養成課程(県委託) *人数は下記注記参照	3	1
	要約筆記者養成講座(手書きコース) (木曜日 10:00~12:00・全43回)	12	10
	要約筆記者養成講座(パソコンコース) (木曜日 10:00~12:00・全43回)	5	3

(注記)上級講座は15か月間のため、受講者数は当年度受講者、修了者数は前年度受講開始の修了者の表記である

5 障害者支援センター

(5)基幹相談支援センター等事業

1 事業概要

相模原市の障害児・者及びその家族の地域生活における様々な課題に対して、基幹相談支援センターの機能を軸に、総合的に相談に応じ、関係機関と連絡調整を行い、地域における信頼を得ながら、相談支援を基盤として丁寧に実践を重ね、市内相談支援事業所の中心的な機関としての役割を担うとともに、自立支援協議会の運営、関係機関とのネットワークの構築、人材育成の強化等に取り組んだ。

2 事業内容

(1)基幹相談支援センターの運営

ア 総合相談・専門相談

地域の相談支援の拠点として障害の種別に関わらず各種ニーズに対応できる総合的・専門的な相談支援を実施した。

単位:件

年度	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒の安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
R元	7,152	351	1,616	820	261	825	602	1,893
30	7,709	594	1,793	1,086	201	787	271	1,733

年度	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	ピアカウンセリング	その他の支援	支援に関わる関係機関との連絡調整	合計
R元	500	48	252	1	166	2,936	17,423
30	367	92	133	1	171	880	15,818

※件数は、「2 障害者支援センター相談支援事業所」(p.7 記載)に係る相談を含む

イ 虐待防止・権利擁護に関する研修

相模原市内の支援者等に対し、虐待防止・権利擁護の意識向上を図るため研修を実施した。

年度	開催回数	内容
R元	6	従事者コース(全4回 うち1回は野澤和弘氏講演)(*)、使用者コース、民生委員向け研修
30	6	従事者コース(全4回)(*)、管理者コース、家族向け研修

*は福祉研修センター研修再掲

ウ スーパーバイザー派遣事業

サービス担当者会議等での専門的な助言や津久井やまゆり園意思決定支援に係る会議にスーパーバイザーとして参加するなど、支援方法の検討・助言、情報提供を行った。

年度	内容	件数
R元	支援方法の検討・助言、情報提供	100
30	支援方法の検討・助言、情報提供	99

エ 基幹相談支援センタースーパーバイズ研修

相談支援専門員の地域リーダーを養成するため、専門家による研修を実施した。

年度	内容	回数
R元	コミュニティワーク	1
30	省察研修	1

オ 基幹相談支援センター相談支援専門分野研修

相模原市内の相談支援事業所等に対し、専門的な知識を基にした相談支援方法等を学ぶため、相談支援分野研修を実施した。

年度	内容	回数
R元	ソーシャルワークアプローチ研修	1
30	ソーシャルワーク実践を学ぶ	1

カ 相談支援専門員研修への運営協力

相談支援従事者研修の実践指導者を養成するとともに、地域に根ざした相談支援専門員を育成するため、神奈川県が実施する相談支援従事者研修へファシリテーターを派遣した。

年度	内容	コース数・派遣人数
R元	相談支援専門員初任者研修へのファシリテーター派遣	2コース 5名
	相談支援専門員現任研修へのファシリテーター派遣	2コース 2名

キ 相談機関等とのネットワーク強化の取組み

相談支援事業所等に対し、情報提供や情報収集を行った。

年度	内容	件数
R元	事業所等への訪問	63
30	事業所等への訪問	39

ク 相談支援事業所等支援の取組み

相談支援専門員に向けて、障害福祉サービス事業所等の空き情報や業務に役立つ資料等を掲載し相談支援業務のサポート等を行った。

年度	内容	件数
R元	事業所等の空き情報の更新	244
30	事業所等の空き情報の更新	236

(2)相談支援体制整備事業

相模原市自立支援協議会を相模原市と協働運営し、地域における安心した暮らしを支えるため、障害福祉に従事する者・障害者・家族等が相互に連携するとともに支援体制の整備を図った。また、地域の課題を検討するため組織体制を変更し、多職種と連携を図り、市の実情に合わせ地域課題を検討した。

年度	開催回数	内容
R元	36	全体会 運営会議 権利擁護・虐待防止検討部会(ワーキングチーム含む) 地域課題調整部会 人材育成部会

		区課題検討会(緑区・中央区・南区) 研修(福祉研修センター共催研修) 視察研修
30	54	全体会 調整委員会 権利擁護・虐待防止検討部会 相談支援事業所等連絡・調整部会 相談支援技術向上部会 個別支援検討・連絡会 情報提供のあり方プロジェクトチーム 青年期支援体制検討プロジェクトチーム 意思決定支援のあり方プロジェクトチーム 研修 視察研修

(3)社会生活力を高める事業

ア 生活力アップ講座

当事者のエンパワメントの促進や本人と家族が地域で安心して生活するために各種講座を実施した。講座の一部は法人内他部署での同種事業担当と連携して実施した。

※エンパワメント:障害のある方の長所、力、強さに着目して援助し、ご本人が希望を叶えるため主体的に取組めるようになることを目指すもの。

年度	開催回数	延べ参加人数	内容
R元	11	99	社会生活技能訓練(SST)講座 身を守る講座 自立促進当事者ミーティング研修 生活力アップ講座(出張講座は中止) 家族支援講座(中止)
30	21	170	社会生活技能訓練(SST)講座 身を守る講座/金銭管理講座/家族支援講座 悪徳商法防止講座(出張型講座を含む) 自立促進当事者ミーティング研修

*上記講座は福祉研修センター研修再掲

イ 意思決定サポート事業

意思形成サポートとして、日常生活の様々な場面に係る体験の機会を提供するため、グループホームの体験的な宿泊を実施した。また、意思表出サポートとして、主に重症心身障害児者を対象に、各事業所等での取り組みおよび課題を把握するための調査を行った。

年度	内容	合計
R元	グループホーム体験宿泊	12人
	重症心身障害児者の意思決定支援の取り組みに関するアンケート調査	21事業所
30	グループホーム体験宿泊	13人

6 障害者一時ケア事業

1 事業概要

障害児・者の家族が、通院や冠婚葬祭のため家庭内での介護が一時的に困難な場合や日ごろの介護疲れを解消し休息やゆとり(レスパイト)をとるため、障害児・者を一時的に介護した。

2 事業内容

(1)登録状況(令和2年3月末現在)

ア 登録者の状況

年度	登録者数	うち新規登録者数
R元	290	26
30	265	34

イ 障害別の登録者数

単位:人

年度	身体障害	知的障害	自閉症	重複障害	その他	合計
R元	9	83	98	99	1	290
30	8	76	92	88	1	265

ウ 年齢別登録者数

単位:人

年度	6~11歳	12~14歳	15~17歳	18~30歳	31歳以上	合計
R元	53	26	43	106	62	290
30	41	24	40	102	58	265

(2)利用状況

毎日午前8時30分から午後10時まで開所した。(年末年始6日、休所日4日を除く。)

ア 利用者の状況

年度	開所日数	延べ利用者数	平均利用者/日	平均利用時間/人
R元	355	1,774	5.0人	5時間35分
30	355	2,032	5.7人	5時間44分

イ 障害別の延べ利用者数

単位:人

年度	身体障害	知的障害	自閉症	重複障害	その他	合計
R元	40	453	669	612	0	1,774
30	37	592	727	673	3	2,032

※その他は精神障害等

ウ 年齢別延べ利用者数

単位:人

年度	6~11歳	12~14歳	15~17歳	18~30歳	31歳以上	合計
R元	136	176	280	889	293	1,774
30	223	271	330	862	346	2,032

(3) 医療的ケアの必要な利用者の利用状況

年度	利用実人数	延べ利用者数	医療的ケア実施回数
R元	16	75	400
30	16	77	344

(4) 困難要因のある利用者の利用状況

年度	対象者数	延べ利用者数
R元	26	300
30	7	160

※困難要因のある利用者:複数の職員対応が必要な方や家族環境に困難要因がある方等、他の事業所での利用が難しい方

(5) 登録者及び家族への情報提供

レスパイト便りの発行:年3回(6月、9月、2月)

新型コロナウイルス感染症対策のため、2月に臨時号を発行し、来園した利用者へ配布した。

(6) 非常勤職員研修の実施

利用者の個々のニーズに合わせたケアを行うため、職員の知識や技術の向上を目的に、非常勤職員等を対象にした研修会を実施した。

年度	回数	延べ参加者数	内容
R元	9	107	姿勢作りについて、呼吸介助法について、移乗について、摂食研修、重症児・者とその家族の思いについて、ストレングスの視点・記録の方法 ※「障害児者への各ライフステージにおける支援」 「事例検討」の2回は中止
30	9	117	姿勢作りについて、呼吸介助法について、移乗について、摂食研修、重症児・者とその家族の思いについて、事例検討

(7) 非常勤職員向け情報紙の発行

非常勤職員を対象に、事業に当たっての最新情報(トピックス)やケアに当たっての必要な知識を伝えるための情報紙「ケアの達人」を発行し、一時ケア事業について意思統一を図り、事故防止に役立てた。(年2回・各70部)

(8) 障害者一時ケア事業所連絡会の実施

市内の障害者一時ケア事業所及び市障害福祉サービス課担当者が集まり、利用者の様子や実績及び事業所の課題を報告・検討した。また、関連事業の理解・連携のため、放課後等デイサービス「きやらっと」の見学・情報交換等を行った。

実施日	参加事業所等
12月13日(金)	松が丘園一時ケア事業 ふれあいデイホーム
2月14日(金) ※会場は「きやらっと」	もみの木ホーム 市障害福祉サービス課

7 発達障害支援センター就労支援事業

1 事業概要

発達障害者及びその家族並びに企業に対し、就労及び雇用に関する相談、指導、情報提供を行う事業を実施することにより、発達障害者の就労支援及び雇用促進を図った。

また、企業開拓、求人情報と求職者のマッチング機会の拡大、職場定着支援の効率化などを図るとともに、就職支援に係る支援計画の作成を順次行い、障害のある方の多様なニーズに応える就労支援を行った。

なお、「障害者地域就労援助センター事業」、「障害者就業・生活支援センター事業」及び「無料職業紹介事業」との一体的な運営により就労支援を行った。

2 事業内容

(1)実施状況(障害者地域就労援助センター事業報告の一部再掲)

年度	相談件数(延べ件数)	相談人数(延べ人数)	就労者数
R元	1,075	587	19
30	1,014	540	14

*就労継続支援A型事業所への就労者は含まない

(2)ケース検討会・発達障害支援センター支援検討会議への出席

年度	出席回数
R元	51
30	47

(3)発達障害支援センターでのインテーク面接対応件数

年度	対応件数
R元	16
30	18

(4)グループワークの実施

発達障害支援センターと共同で、発達障害のある方に職業的スキルの獲得を目的に「職場対人技能トレーニング(JST)」「職場体験実習」「職場体験実習振返り」をグループワークで実施した。

年度	実施回数	参加人数(延べ人数)
R元	2	8
30	1	3

発達障害支援センターで支援している高校生とその保護者のうち、グループ支援を希望する方を対象に、発達障害のある本人が仕事に対するイメージと自己理解を深める動機を高めることを目的に「高校生向け職場体験セミナー」を企画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度は中止した。

年度	実施回数	参加人数(延べ人数)
R元	(中止)	—
30	2	4

(5)職業評価の実施

ワークサンプル幕張版(作業を通して職業適性・就労能力・特性把握を行うための評価検査、略称:MWS)を活用した職業評価を実施した。

年度	延べ実施日数	実施人数
R元	2	2
30	6	6

自閉症スペクトラムの移行アセスメントプロフィール(知的障害のある自閉症者を対象に、地域生活に必要なスキルの評価をおこなう検査・略称:TTAP)を実施した。

年度	延べ実施日数	実施人数
R元	12	12
30	11	11

(6)関係機関等との連携

日時	参加回数	内容
7月4日	1	相模原市立小学校長会 研修講師派遣 (就労援助センターの紹介、松が丘園の紹介)
7月4日ほか	4	発達障害者雇用支援連絡協議会への参加 7/4、11/21 : 本会議 7/30、2/20 : 成人期部会

8 障害者相談支援キーステーション事業

1 事業概要

相模原市における重層的かつ総合的な相談支援体制の中で、中圏域をカバーする相談支援の場として、南区と緑区にある障害者相談支援キーステーションの運営を基幹相談支援センターと連携して行った。

2 事業内容

(1) 緑障害者相談支援キーステーションの状況

ア 実施内容

場所	緑区合同庁舎2階
開所時間	午前8時30分から午後5時まで(平日)
対象者	緑区在住の障害者及びその家族、関係者等
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区在住の障害者の総合的な相談窓口 ・継続的な相談支援(福祉サービスにつながりにくい、支援が難しい方など) ・区内関係機関の調整

イ 運営

運営について複数法人で協力することにより、相談支援業務の標準化に向け中立公平な視点を持ったチーム支援を実施し、法人間の連携を強化した。

	法人名	相談員配置	
運営主体	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団	1名	週5日
運営協力	社会福祉法人かながわ共同会	1名	週5日
	社会福祉法人かわせみ会	1名	週5日

ウ 事業実績

障害種別に関わらず各種ニーズに対応できる総合的かつ専門的な相談支援を行った。

年度	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒の安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
R元	2,236	144	1,084	296	83	831	758	1,860
30	2,601	172	947	639	65	916	745	2,433

単位:件

年度	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他の支援	支援に係る関係機関との連絡調整	合計
R元	708	110	49	62	1,755	9,976
30	922	110	20	266	646	10,482

(2) 南障害者相談支援キーステーションの状況

ア 実施内容

場所	南保健福祉センター1階
開所時間	午前8時30分から午後5時まで(平日)
対象者	南区在住の障害者及びその家族、関係者等
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区在住の障害者の総合的な相談窓口 ・継続的な相談支援(福祉サービスにつながりにくい、支援が難しい方など) ・区内関係機関の調整

イ 運営

運営について複数法人で協力することにより、相談支援業務の標準化に向け中立公平な視点を持ったチーム支援を実施し、法人間の連携を強化した。

運営主体	法人名	相談員配置	
	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団	1名	週5日
運営協力	社会福祉法人県央福祉会	1名	週5日
	特定非営利活動法人エヌピーオーかむ	2名	週5日

ウ 事業実績

障害種別に関わらず各種ニーズに対応できる総合的かつ専門的な相談支援を行った。

年度	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒の安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
R元	2,990	636	1,897	1,762	74	1,674	391	2,375
30	2,948	260	1,407	1,226	102	1,253	516	1,918

単位:件

年度	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他の支援	支援に係る関係機関との連絡調整	合計
R元	747	395	118	48	2,257	15,364
30	1,006	359	234	165	1,022	12,416

(3) ケース会議、グループスーパービジョンの実施回数

官民協働のチームで包括的に支援することを目的に、所在区の障害福祉相談課、保健福祉課とケース会議を行った。また、支援困難ケース等に対し、福祉の枠組みだけではない新たな支援方法や地域課題の抽出、官民協働、民民連携を目的に、グループスーパービジョンを行った。

年度	ケース会議		グループスーパービジョン	
	緑	南	緑	南
R元	43回	47回	20回	12回
30	52回	54回	24回	12回

(4) 面接トレーニング

面接技術向上を目的に、面接場面のロールプレイをビデオ撮影し、それを基に振り返りを行った。

年度	面接トレーニング
R元	9回
30	11回

(5) 相談支援事業所支援

区内の相談支援力向上を目的に、支援困難ケースに対応する相談支援事業所に対して、支援方法及び考え方の検討や助言などの支援を行った。

年度	緑	南
R元	27件	21件
30	11件	35件

(6) 弁護士による助言相談

神奈川県弁護士会と連携し、支援方法等について法的な視点から助言を受ける取組を行った。

年度	助言相談
R元	5件
30	10件

9 けやき体育館

(1)けやき体育館管理・運営事業

1 事業概要

体育室、機能訓練室、教養室、和室、教室の各室を、障害者団体の優先利用を基本原則として貸出しを行った。貸出しに当たっては、障害者が自主的かつ積極的にスポーツやレクリエーション活動が楽しめるよう支援した。

また、けやきカフェの経営については、けやき体育館来館者への食事と憩いの場の提供という目的のほか、障害者就労を目指す重度障害者を対象にした就労体験実習の場としての活用を図り、障害者の社会参加を支援した。

2 事業内容

(1)利用回数・利用率

		体育室	機能訓練室	教養室	和室	教室	合計
R元	利用回数	932	716	694	434	562	3,338
	(うち減免利用)	(782.5)	(397)	(485)	(233)	(372)	(2,269.5)
	(うち一般利用)	(149.5)	(319)	(209)	(201)	(190)	(1,068.5)
	利用率	95.3%	73.2%	71.0%	44.4%	57.5%	68.3%
30	利用回数	1022.5	747	720	506	627	3,622.5
	(うち減免利用)	(847.5)	(419)	(503)	(253)	(422)	(2,444.5)
	(うち一般利用)	(175)	(328)	(217)	(253)	(205)	(1,178)
	利用率	96.0%	70.1%	67.6%	47.5%	58.9%	68.0%

(2)利用延べ人数

		体育室	機能訓練室	教養室	和室	教室	合計
R元	利用人数(延べ)	27,263	8,265	10,389	4,226	8,116	58,259
	(うち障害者)	(10,363)	(2,993)	(2,884)	(1,119)	(2,502)	(19,861)
	(うちその他)	(16,900)	(5,272)	(7,505)	(3,107)	(5,614)	(38,398)
30	利用人数(延べ)	26,948	8,927	10,864	4,744	8,842	60,325
	(うち障害者)	(10,726)	(2,753)	(2,965)	(1,015)	(2,476)	(19,935)
	(うちその他)	(16,222)	(6,174)	(7,899)	(3,729)	(6,366)	(40,390)

1月までの利用回数及び利用延べ人数は、前年同期比でそれぞれ2.5%、7.1%上回っていた。新型コロナウイルス感染症の影響により、利用の自粛が出始めた2月は、利用回数が△11.6%、利用延べ人数が△6.7%それぞれ前年比で減少した。3月2日より、新型コロナウイルス感染症対策による休館となったため、貸館の休止と併せ、主催講座、イベント等も中止となった。これらの影響により、通常どおり実施した場合と比べ、利用回数で約360回、利用延べ人数で約6,300人が減少した。

(3)個人開放の実施

毎月第2土曜日及び第4日曜日、5月は第3土曜日に変更（延べ人数）

単位:人

	内容	実施日数	大人		小人		合計
			障害者	その他	障害者	その他	
R元	バドミントン	21	12	441	6	697	1,156
	卓球	21	53	389	4	149	595
	合計	42	65	830	10	846	1,751
30	バドミントン	24	8	463	3	803	1,277
	卓球	24	57	444	7	224	732
	合計	48	65	907	10	1,027	2,009

※ 10月12日は台風のため中止。3月は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止。

(4)けやき体育館・けやき会館合同防災訓練の実施

ア 第1回総合防災訓練

- ① 実施日 9月6日(金)
- ② 実施施設 相模原市立けやき体育館及びけやき会館
- ③ 訓練内容 けやき会館5階大樹の間火災想定。避難誘導及び屋内消火栓等操作訓練

イ 第2回総合防災訓練

- ① 実施日 2月9日(日)
- ② 実施施設 相模原市立けやき体育館及びけやき会館
- ③ 研修内容 避難誘導及び通報連絡等の大規模地震発生想定訓練

(5)福祉求人閲覧コーナーの設置

けやき体育館への一般来場者が障害福祉サービス事業所の求人情報を常時閲覧できるよう、福祉求人閲覧コーナーを新規に設置した。

(6)けやきカフェの経営

これまでのけやき食堂を「けやきカフェ」としてリニューアルし、松が丘園麦の穂のパンを取り入れるなど、メニューの見直しを行った。

ア 営業日

月曜日から金曜日まで、臨時営業あり

イ 営業時間

午前11時から午後3時30分まで

ウ 売上等

年度	営業日数	売上	一日平均売上
R元	221 ※3月は休業	3,037,610円	13,745円
30	287	3,301,510円	11,504円

エ 障害者就労体験実習の受入れ

年度	日数	人数
R元	73	16
30	81	18

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため1名4日間実施中止。

(7)けやきカフェのフリースペースとしての活用方法検討

令和2年度からの実施に向け、各関係機関へヒアリングを実施し、フリースペースとしての活用方法を検討した。

年度	ヒアリング件数
R元	6

9 けやき体育館

(2)障害者余暇活動支援事業

1 事業概要

障害者がスポーツや余暇活動により、日常の生活をより楽しんで充実できるよう、障害者スポーツ大会の支援、専門的なスポーツ指導体制の整備を図るとともに、スポーツ講座やふれあい文化講座および各種イベントを行った。実施に当たっては、障害の種別を問わず、小学生以上の障害のある方(内容により、一部年齢制限あり)とした。

2 事業内容

(1)スポーツ講座の実施

単位:人

内容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い	合計
元気にパワーアップ体操	5	144	7	50	201
楽しく体を動かそう♪	5	110	10	63	183
レッツ♪ストリートダンス (けやき体育館フェスタ発表のための練習含む)	5	70	5	36	111
えがおでリフレッシュ健康体操	6	126	13	64	203
スポーツを楽しもう♪	3(※)	68	8	26	102
元気にパワーアップ体操 in 南区	2	54	0	22	76
楽しく♪卓球	2	45	13	6	64
みんなで楽しく運動しよう♪	6	65	6	35	106
アーチェリーに挑戦!	2	20	4	11	35
元気にパワーアップ体操 in 津久井	3	84	1	25	110
チャレンジ☆空手教室	2	21	2	3	26
楽しく♪エアロビクス	2(※)	36	0	13	49
元気にサッカー教室	1	28	3	14	45
楽しく♪ソフトテニス	0(※)	-	-	-	-
合計	44	871	72	368	1,311

※3月実施分は中止となり、当初予定より各1回減となっている。

(2)ふれあい文化講座の実施

単位:人

内容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い	合計
おいしい野菜を食べよう♪~春野菜編~	1	14	4	2	20
漫画風イラストを描いてみよう♪	1	17	1	3	21
おいしいお菓子を作ろう♪	1	16	2	9	27
書道を楽しもう♪	2	20	4	10	34
おいしい野菜を食べよう♪~夏野菜編~	1	16	2	7	25
じっさいのパフォーマンス講座	2	32	5	18	55
みんなで歌おう♪	3	57	12	28	97
おいしい野菜を食べよう♪~秋野菜編~	1	12	2	4	18
ゴスペルを歌ってみよう♪	1	17	5	6	28
楽しく♪音楽&リズム	2(※)	44	3	25	72
おいしい野菜を食べよう♪~冬野菜編~	1	12	2	6	20
合計	16	257	42	118	417

※3月実施分は中止となり、当初予定より1回減となっている。

(3)1日バスレクリエーションの実施

単位:人

内 容	実施日	場 所	障害者	付添い
りんご狩り	11月9日(土)	長野県佐久市「佐々木果樹園」	37	37

(4)1日レクリエーション(イベント)の実施

車いすバスケットボール体験やブラインドテニス体験など、パラスポーツに因んだ地域交流事業「けやき体育館フェスタ」他、各種イベントを実施した。

単位:人

内 容	実施日	障害者	ボランティア	付添いほか	合計
ミニ運動会でヨーイドン!!	6月21日(金)	27	2	10	39
タグラグビー ～ラグビーボールに触れてみよう～	6月29日(土)	12	4	2	18
楽しく踊ろう♪盆踊り	7月26日(金)	98	6	43	147
ミニ運動会 in 津久井	9月10日(火)	28	10	10	48
おたのしみイベント	11月2日(土)	46	0	19	65
なぜなにレクチャー 科学のびっくり箱!	11月3日(日)	14	5	11	30
けやき体育館フェスタ	12月6日(金) 7日(土)	—	—	—	241
何でも♡発表会♪	2月 7日(金)	30	1	30	61
合 計	9日間	255	28	125	649

※「ピエロがやってくる♪」(3月26日予定)は中止

(5)障害のある方を対象とした個人開放日の設定

休日の過ごし方がわからない、運動をしたいが相手がいない、対人で将棋を指したいが相手がいない等の困り感を抱えている障害のある方を対象に、ボランティアと一緒に楽しむ「きままに〇〇デイ」として個人開放日を設定した。

単位:人

	実施回数	障害者	ボランティア	付添いほか	合計
きままに卓球デイ	11(※1)	76	17	0	93
きままに将棋デイ	9(※2)	57	61	5	123
きままにバドミントン	4(※1)	29	28	2	59
合 計	24	162	106	7	275

※1 3月実施分は中止となり、当初予定より各1回減となっている。

※2 10月(台風の影響)、・2・3月実施分は中止となり、当初予定より3回減となっている。

(6)自主サークル活動支援

育成講座等を通じて結成されたサークルに対し、コーディネート、自主化等の支援を実施した。

単位:人

対象サークル	実施回数	延べ参加者数	
		障害者	ボランティア
手芸サークル あむあむ	9	35	10
ボウリングサークル ターキーズ	10	68	10
料理サークル MANGER	8	38	23
バスケットサークル 松が丘 BULLS	30	444	54
サッカーサークル FC 松が丘	21	153	48
合 計	78	738	145

(7) ボランティア確保に向けての動き

神奈川県のパラスポーツ人材マッチングを活用したボランティアの募集や登録ボランティアを対象に情報交換や相互の交流を目的とするボランティア交流会を実施するなど、障害者の余暇活動を支えるためのボランティア確保に努めた。

ア ボランティア登録者数(3月末現在)

年度	登録ボランティア者数
R元	31 (うち新規登録者数 9名)
30	24 (うち新規登録者数 8名)

イ ボランティア交流会の実施

実施日	参加者数
6月16日(日)	9

※3月は中止とした

(8) パラスポーツ普及啓発事業の実施

共にささえあい生きる社会 パラスポーツ普及啓発実行委員会の委員として、相模原市や関係機関と連携し、各種イベントを実施するほか、車いすラグビー体験会の開催や、地域のパラスポーツ体験会へ訪問指導を行うなど、パラスポーツの普及に努めた。

ア パラスポーツ体験会

内容	実施日
視覚障害者誘導体験&フロアバレーボール体験会	7月21日(日)
車いすバスケットボール体験会	8月23日(金)
車いすラグビー練習試合観戦&体験会	10月6日(日)
ポッチャ体験会&練習会	1月18日(土)
ポッチャ練習会	2月1日(日)
～喜楽喜楽自分を見つける講座～ みーんな一緒にポッチャやろう！(中央公民館共催)	※ 3月1日(日)中止
相模まつり～パラの陣～(ユメカナプロジェクトとの共催)	※ 3月22日(日)中止

イ パラスポーツ大会の実施

東京2020パラリンピック競技大会正式種目であるポッチャ競技の大会を開催した。開催に当たっては、障害の有無にかかわらず、誰もが参加できることとし、地域の方と一緒に楽しく交流できる場とした。

内容	実施日	参加チーム数
第一回ポッチャ大会～けやき杯～	2月15日(土)	15

ウ 共にささえあい生きる社会実行委員会

内容	実施日
相模原で応援しよう！～Tokyo2020 1Year to Go～	8月24日(土) 8月25日(日)
パラスポーツ普及啓発キャラバン in SC相模原ドリームマッチ	9月30日(月)
パラスポーツ普及啓発キャラバン in SC相模原ホームゲーム	10月27日(日)
さがみパラフェスタ	11月16日(土) 11月17日(日)

エ パラスポーツ訪問指導

内容	実施日
横山公民館主催「パラスポーツを知ろう、やってみよう」	5月26日(日)
作の口児童クラブ ボッチャ体験会	10月31日(木)
東林公民館福祉まつり ボッチャ体験コーナー	11月23日(土)
光が丘地区社会福祉協議会ボッチャ講習会	12月15日(日)
中央公民館ボッチャ体験会	2月9日(日)
大野小学校ボッチャ体験会	2月13日(木)
藤野地区社会福祉協議会ボッチャ講習会	2月17日(月)

※ 10月のほかほかふれあいフェスタ、スポーツフェスティバルへの訪問は台風のため中止

(9)作品展示コーナーの設置

障害のある方の絵画や写真等を来館者が鑑賞できるコーナー「けやきギャラリー」を設置し、障害のある方の社会参加促進や、障害への理解、普及を図った。

(10)情報収集

障害福祉事業所への訪問、講座参加者当を対象に障害者余暇活動に関するニーズ調査を実施した。

(11)情報提供

「けやき体育館通信」並びに事業団ホームページを活用し、障害者スポーツやレクリエーション等の情報提供を行うとともに、サークル活動・障害者団体等の活動情報提供を行った。

また、ツイッター(アカウント名:けやき体育館)を利用し、即時性のある情報等の周知に活用した。

(12)レクリエーション支援研修

障害者の余暇活動参加への理解、支援者の養成を目的に、福祉研修センターと連携し、レクリエーション支援研修を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止とした。

(開催予定日3月17日)

令和元年度 福祉研修センター 研修一覧表

【障害福祉サービス事業所等職員対象】

区分	研修名	講師		対象者の自覚	実施日時	参加者数	昨年度の参加者数	
		所属等	氏名					
新規採用職員研修	A1 社会人としての基本的マナー～利用者支援の前に知っておくべきこと～	練AIGOL	中川 奈美氏	基礎	5月28日(火)10:00～16:00	18	19	
障害福祉基礎研修	B1 障害福祉制度の基礎	桜美林大学	谷内 孝行氏	基礎	5月9日(木)14:30～16:30	33	44	
	B2 相談援助の基礎～ソーシャルワークの歴史と原則～	田園調布学園大学	隅河内 司氏	基礎	6月7日(金)14:00～17:00	26	24	
	B3 障害児の理解	鶴見大学	河合 高純氏	基礎	7月12日(金)15:00～17:00	42	26	
	B4 障害者の理解(高次脳機能障害を理解する)	神奈川県総合リハビリテーションセンター	永井 善子氏	基礎	9月13日(金)15:00～17:00	28	41	
	B5 障害児者を支援する～発達障害の理解と支援の方法～	相模原市発達障害支援センター	小林 太郎氏	基礎	8月2日(金)15:00～17:00	46	33	
	B6 障害福祉従事者の倫理観	文教大学	平田 美智子氏	基礎	4月25日(木)14:30～16:30	30	42	
	B7 対人援助の基礎を学ぶ	桜美林大学	谷内 孝行氏	基礎	6月20日(木)14:30～16:30	45	44	
	B8 相模原市の障害福祉制度	相模原市中央障害福祉相談課	池田 祥宏氏	基礎	8月23日(金)15:00～17:00	35	26	
	B9 最新の障害福祉の動向	全国手をつなぐ育成会	又村 あおい氏	全職員	1月11日(土) 9:30～11:30	51	54	
	基礎Ⅱ	C1 記録の方法	日本女子大学	久田 則夫氏	全職員	7月3日(水)10:00～16:00	14	12
		C2 アセスメント技術を高めるために！	大正大学	近藤 達司氏	全職員	3月 中止		15
		C3 ケース会議の進め方、方法について学ぶ～ケースカンファレンスが修められる方法～	薬野市地域生活支援センター「ぼれっとはだの」	小池 惠一氏	全職員	3月6日(金)13:00～17:00 中止		19
		C4 現場ですぐに活用できる！実践SST研修	みやぎ心のケアセンター	片柳 光昭氏	全職員	11月9日(土)13:00～17:00 11月10日(日)10:00～17:00	18	8
C5 スーパービジョン		東海大学	堀越 由紀子氏	全職員	3月 中止		15	
C6 「私たちに求められていること」～虐待を防ぐために～		毎日新聞談話委員 和泉短期大学 神奈川県メンタルヘルスケア協会 横浜やまびこの里	野澤 和弘氏 堀川 隆哉氏 中村 政彰氏 志賀 利一氏	全職員	9月12日(木) 18:30 10月18日(金) 18:30 11月28日(木) ~20:30 12月9日(月)	335	261	
管理運営業務研修	D1 障害者支援施設における不審者対策	相模原市防犯交通安全指導員		全職員	7月29日(月)14:30～16:30	24	18	
支援技術向上研修(共通)	D2 クレーム対応	電話し方教育センター	山川 亮子氏	全職員	12月13日(金)10:00～16:30	18	22	
	E1 障害者支援の基本の「き」～支援者の心構え、支援者の基本的な心～	日本女子大学	久田 則夫氏	全職員	2月19日(水)14:00～16:00	23		
	E2 スタッフがさらにやる気をもつ方法～コーチングからのヒント～	and C's	藤田 湖氏	全職員	1月17日(金)13:00～17:00	12	21	
	E3 支援力を磨く！～自閉症の人への支援を考える～	県立子ども自立生活支援センター	高橋 隆志氏	全職員	2月13日(木)15:00～17:00	27		
	E4 ストレングス・エンパワメントを知る	相模原市社会福祉事業団	小林 麻衣子氏	全職員	2月6日(木)15:00～17:00	18	16	
支援技術向上研修(相談)	E5 実践発表会	くりのみ学園 津久井やまゆり園	加藤 祐史氏 地域支援部	全職員	11月27日(水)18:00～20:00	50	24	
	F1 ケアマネジメント	相模原市社会福祉事業団	玉手 邦明氏	全職員	3月 中止			
	F2 面接相談技術	みやぎ心のケアセンター	片柳 光昭氏	全職員	3月14日(土) 中止			
	F3 他職種連携～医療と福祉の連携について～	県医療ソーシャルワーカー協会		全職員	3月 中止			
	F4 意思決定支援を考える	上智大学	大塚 晃氏	全職員	3月 中止		18	
	F5 サービス等利用計画で本人理解！！	自立支援協議会・人材育成部会		全職員	1月28日(火)15:00～17:00	35		
	F6 モニタリングの方法	合同会社みらい	宮崎 勤氏	全職員	9月7日(土)9:00～12:00	22		
F7 ソーシャルワークのアプローチ研修	大妻女子大学教授	森野 ともみ氏	全職員	1月21日(火)9:30～12:00	27			
支援技術向上研修(就労援助)	G1 就労援助セミナー	相模原福祉事業団	就業・生活支援センター職員	全職員	2月21日(金)15:00～17:00	6	10	
支援技術向上研修(余暇活動支援)	H1 障害者のためのレクリエーション支援研修	日本福祉文化学会	園田 碩哉氏	全職員	3月17日(水)18:30～20:30 中止		21	
支援技術向上研修(介護)	J1 こころ良さを目指して	相模原教育園 すりーびーず	樋口 滋氏 櫻 武志氏	全職員	9月20日(金) 10月4日(金)18:30～20:30 11月8日(金)	97	135	
	J2 摂食について	昭和大学歯学部	石崎 昌子氏 矢島 健太郎氏 松中 祥司氏	全職員	6月4日(火) 6月12日(水)18:30～20:30 6月26日(水)	170	114	
	J3 重症児・者のこころの理解	能見台クリニック	花井 丈夫氏	全職員	7月12日(金)18:30～20:30	56	76	
特別研修	K1 さがみはら☆共にささえあい生きる社会を目指して	和泉短期大学 相模原市役所	鈴木 敏彦氏 障害政策課職員	全職員	7月23日(火)14:30～17:00	35	38	
	K2 誰もが働きやすい職場づくり～障害平等研修(DET)から考える	桜美林大学	谷内 孝行氏	全職員	2月20日(木)13:30～16:30	10		

※ 研修対象者の自覚(基礎:主に職務経験1年目から3年目の新任職員を対象、応用:主に職務経験4年以上の職員を対象)

1351

【障害当事者、家族等向け】

区分	研修名	講師		実施日時	参加者数	昨年度の参加者数
		所属等	氏名			
障害当事者等向け研修	L1 コミュニケーションを学ぼう			12月14・21日、1月11・18日、2月1・8・21日 10:00～11:30	31	59
	L2 スマートフォン安全教室【虐待防止・権利擁護研修(身を守る講座)】			9月28日(土)10:00～11:30	23	17
	L3 生活力アップ講座			11月24日(日)13:30～16:30 11月28日(木)9:00～11:00 2月28日(金) 中止	42	
	L4 「働く」から「働きたい」のために！	日産自動車株式会社等		1月22日(水)13:30～16:00	83	61
	L5 当事者ミーティング「話してみよう」			10月5日(土)10:30～12:00	3	5
	L6 中途失業者・転職者のためのコミュニケーション教室	土の会 手話講師	土屋 和代氏 谷 千香氏	1月20日(月)14:00～16:00 2月4日(火)14:00～16:00 2月25日(火)3月3日(火) 中止	35	143
家族等向け研修	L7 家族支援講座 ～障害福祉制度を学ぶ～	相模原市社会福祉事業団 すずらの会 県央福祉社会 さくら会	田原 法恵氏 正貴氏 森村 三郎氏 稲澤 翔太氏	3月10日(火) 中止		26

217

【市民等向け】

区分	研修名	講師		実施日時	参加者数	昨年度の参加者数
		所属等	氏名			
市民等向け講座	M1 権利擁護・成年後見について	司法書士ともえ事務所所長	岩屋口智栄	1月18日(土)13:00～15:00	12	13
	M2 誰もが働きやすい職場づくり～障害平等研修(DET)から考える(再掲)	桜美林大学	谷内 孝行氏	2月20日(木)13:30～16:30	10	

総計

22
1580 名